
跡見学園報

第52号 別冊

平成22年度 事業報告書

平成23年度 事業計画書

平成22年度 事業報告書……………P 2

平成23年度 事業計画書……………P60

平成22年度 事業報告書

はじめに	3
I. 法人の概要	4
1. 学校法人の沿革（概要）等	4
2. 学校法人跡見学園寄附行為	7
3. 寄附行為に定める事業内容	7
4. 所管官庁に関する事項	7
5. 設置する学校・学部・学科等	7
6. 理事・監事・評議員（第20期）、顧問	9
7. 学園組織	11
8. 専任教職員の概要	12
9. 学外施設	13
II. 事業の概要	14
1. 法人事務局	17
2. 女子大学	27
3. 中学校高等学校	38
III. 財務の概要	46
1. 平成22年度跡見学園収支決算について	46
(1)資金収支計算書	46
(2)消費収支計算書	49
(3)貸借対照表	53
(4)財産目録	55
2. 過去5年間の収支決算の推移について	56
IV. 収益事業の概要	57
監査報告書	59

はじめに

平成22年度は、文学部現代文化表現学科及びマネジメント学部観光マネジメント学科の開設を皮切りに、5月には女子大学を東京の大学として登録する大学位置変更について文部科学省に届出を行い、平成23年3月11日（金）14：46に発生した東日本大震災（東北地方太平洋沖地震及び巨大津波）や、これに伴う原発事故及び計画停電等の未曾有の社会的混乱と余震の中で、年度末を迎えました。

まず、東日本大震災により、亡くなられた方々には深く哀悼の意を表しますとともに、ご遺族には謹んでお悔やみを申し上げます。傷病を負い又は避難生活を続けられている方々には、心からお見舞いを申し上げます。また、災害を受けられた方々の一日も早い生活再建と復興をお祈り申し上げます。

この大震災では、学園の学生生徒及び教職員は無事で、また、校舎関係で大きな被害はなく、構造体としての安全性は確保され、応急の補修工事だけで原形復旧することができました。この間、卒業式が中止され、点検及び補修工事のため、大学の始業が5月となりましたが、現在、すべて原状に復帰することができました。関係各位並びに保護者の皆様のご理解とご協力に、改めて感謝申し上げます。

今回の大震災は、日本だけにとどまらず、被災した東北地方からの部品調達に依存する諸外国の産業にも大きな経済的打撃を与えており、日本の景気回復を牽引するはずの輸出にも、リーマンショック以来の長引くアメリカの経済不況、ヨーロッパの金融危機、中東の政変等に加え、新たな不安要因が生じはじめています。このため、「失われた20年」と震災復興を背負う日本は、就業年齢人口の減少に加えて、若年失業、消費低迷、貯蓄力の減退及び公的債務の巨大化がさらに一段と進み、このままでは、近い将来、日本経済が深刻な財政恐慌に陥るとの観測もあります。今、日常の暮らしは、国家の枠組みを超える世界秩序の変化や大震災の影響と直結し、その生活スタイルも含め大きな転換期に入っています。次代に対して我々が責任を担う教育もまた、その変化のなかにあります。

このような予想をはるかに超えた経済・社会の変動局面は、学校法人の経営とも決して無縁ではありません。既にご承知のとおり、少子化に伴い18歳人口が減少し、私大入試全体の合格率は限りなく100%に近づきつつあります。女子については、併願数の低下傾向もあります。加えて特に規模の小さな私学にあっては、大都市圏の大規模大学の更なる拡張、受験生の囲い込み、定員超過等の影響を受けて、非常に苦しい学生募集を強いられています。定員割れや期中における在籍者の減少等に伴う帰属収支の悪化から基本金を組入れるための原資の余裕が失われ、平成22年度は、5つの私立大学が学生募集停止に追い込まれました。今回の大震災により東北・北関東の産業基盤が大きく壊滅したことに伴い、平成23年度末に向けた受験や求人の動向は予断を許さないものとなっています。

幸い、これまで学園の財務は、花隈先生生誕150年記念事業以来20年間のソフト・ハードにわたる改革の総決算として、平成20年9月に完成を見た大学文京キャンパス新棟（2号館）や中学高校選択教室棟（S棟）の建設後の現在にあっても、引き続き無借金で、今のところ手許の支払資金にも問題がありません。教育に対して、学園は、確固とした経営基盤を保持し続けております。また、関係各位のご努力により、平成23年度入試でも、大学、中学とも予定の目標入学者数を確保しました。大学の就職内定率も91.2%となり、高校の大学進学も国公立の合格者数が昨年度を上まわりました。

変動の現代にあって、今後とも学園は、「選ばれる私学」として、女子の新しい進学需要を開拓し、入学者に対し満足度の高い「優れた教育」を提供できる「常に改革し動いている跡見」であることが求められます。このために、現在、学園が新たに取り組む教育改革は、大学にあっては、都心と郊外にキャンパスを有する女子大学として、平成22年4月に行った現代文化表現学科及び観光マネジメント学科増設後の、教育課程の革新と新たな教育分野の探求であります。また、中学高校にあっては、面倒見がよく、一段と高い大学進学競争力をもった学校となるための教育体制の刷新であります。

解決の見通しが立たない世界的な金融不安のなか、大震災や国内景気的大幅な落ち込みに伴い、生産と消費の後退や家計収入の悪化等、日本における内外の厳しい環境の変化は、今後、教育改革を進める学園の財務運営にも大きな影響を及ぼして来ます。10年後に18歳人口の急減が再び口をあけて待つこれからの厳しい競争環境を勝ち抜き新たな将来計画立案のため、今後の志願者、入学辞退、中途退学、大学進学・就職内定

等の動向や価値観の変化について、我々は、一段と注意深く対処しつつ、引き続き無駄のない我慢強い経営を行っていく覚悟を、改めて固める必要があります。

学園としては、日本近代女子教育の先駆的な私立学校である「跡見学校」以来の伝統を継ぎ、女子教育に対する深い使命感と高い財務規律に立って、今後とも如何なる環境の変化にも対応できる強い経営基盤を堅持し、些かの不安も生じることのない健全な財務運営を図っていく所存であります。

I. 法人の概要

1. 学校法人の沿革（概要）等

- 明治8年1月8日 学祖跡見花蹊、東京神田に跡見学校を開設
- 21年1月8日 小石川柳町に校舎移転
- 大正2年11月21日 財団法人跡見女学校設立認可
- 昭和8年1月11日 小石川大塚校舎移転
- 19年4月1日 高等女学校令により跡見女学校を跡見高等女学校に改称
- 21年3月30日 跡見高等女学校専攻科設置認可（修業年限3年 文科国文、家政科）
- 22年4月1日 跡見学園中学部設置認可（学制改革による）
- 23年3月10日 跡見学園高等学校設置認可（学制改革による）
- 24年3月31日 跡見高等女学校廃止認可
- 24年4月1日 跡見学園高等学校専攻科（文科：国文・英文課程、家政科：家政保健・生活芸術課程）、及び別科設置認可
- 25年3月14日 跡見学園短期大学設置認可
（文科国文・家政科〔家政保健・生活芸術課程〕 修業年限2年）
- 25年3月31日 跡見学園高等学校別科廃止
- 25年11月10日 跡見学園中学部を跡見学園中学校に改称
- 26年2月21日 財団法人跡見女学校より学校法人跡見学園に組織変更認可
- 26年3月31日 跡見学園高等学校専攻科生徒募集停止
- 27年2月20日 跡見学園短期大学生生活芸術科増設認可
- 29年4月1日 跡見学園高等学校専攻科廃止届
- 33年2月6日 跡見学園高等学校・中学校の「6年制一貫教育」体制の実施
- 40年1月25日 跡見学園女子大学（文学部国文学科、美学美術史学科）設置認可
- 41年12月26日 跡見学園女子大学文学部英文学科増設認可
- 49年1月23日 跡見学園女子大学文学部文化学科増設認可
- 50年10月21日 跡見学園創立100周年記念式典挙行
- 57年1月16日 跡見学園短期大学入学定員変更、文科英文専攻課程設置認可
- 60年12月25日 跡見学園短期大学文科英文専攻課程に臨時的定員増認可
- 平成2年9月28日 跡見花蹊生誕150周年記念式典挙行
- 2年12月21日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増認可
- 6年8月30日 跡見学園短期大学から跡見学園女子大学短期大学部に名称変更認可
- 7年11月11日 跡見学園創立120周年記念式典挙行
- 7年11月15日 跡見学園女子大学花蹊記念資料館開館
- 11年10月20日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増延長認可
跡見学園女子大学短期大学部に臨時的定員増延長認可
- 13年5月29日 跡見学園女子大学文学部4学科（国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科）を改組し、文学部人文学科の設置認可

- 開設時期 平成14年4月1日
- 13年8月1日 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科設置認可
- 開設時期 平成14年4月1日
- 跡見学園女子大学短期大学部文科収容定員増に係る学則変更認可
- 変更時期 平成14年4月1日
- 跡見学園女子大学短期大学部文科英文専攻課程の期間を付した入学定員の設定に係る学則変更認可
- 変更時期 平成14年4月1日
- 跡見学園女子大学短期大学部家政科収容定員減に係る学則変更認可
- 変更時期 平成14年4月1日
- 跡見学園女子大学短期大学部生活芸術科収容定員減に係る学則変更認可
- 変更時期 平成14年4月1日
- 13年12月20日 跡見学園女子大学マネジメント学部マネジメント学科設置認可
- 開設時期 平成14年4月1日
- 14年3月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科の学生募集停止届出
- 実施時期 平成14年4月1日
- 14年4月1日 跡見学園女子大学文学部人文学科・臨床心理学科、マネジメント学部マネジメント学科開設
- 15年7月11日 跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程及び英文専攻課程名称変更届出
跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程・英文専攻課程及び家政科の収容定員変更届出
- | | |
|----------------------------|-----------|
| | 入学定員 |
| 文科国文専攻課程—————▶言語文化科日本語専攻課程 | -10名(60名) |
| 文科英文専攻課程—————▶言語文化科英語専攻課程 | +5名(100名) |
| 家政科 | +5名(100名) |
- 変更時期 平成16年4月1日
- 15年7月22日 学校法人跡見学園寄附行為変更届
- 名称変更：短期大学部文科—————▶短期大学部言語文化科
- 文科国文専攻課程—————▶言語文化科日本語専攻課程
- 文科英文専攻課程—————▶言語文化科英語専攻課程
- 15年8月1日 跡見学園女子大学短期大学部収容定員関係学則変更届出書の受理通知受領（文部科学省大学課短期大学係）
- 16年11月30日 跡見学園女子大学大学院人文科学研究科日本文化専攻・臨床心理学専攻設置認可
- 開設時期 平成17年4月1日
- 17年3月23日 評議員会・理事会において可決承認
- 跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置
- 跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置
- 以上開設時期 平成18年4月1日
- 跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止
- 実施時期 平成18年4月1日
- 17年4月1日 代表権者確認の変更登記
- 「私立学校法の一部を改正する法律」（平成16年法律第42号）の施行に伴う変更登記
- 17年4月5日 跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置届出
- 跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置届出

- 跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止の報告
以上開設・実施時期 平成18年 4月1日
- 17年 6月21日 跡見学園第19期役員・評議員改選、選任完了
- 17年 7月29日 人文学科 1,440名
臨床心理学科 480名
マネジメント学科 880名
変更時期 平成18年 4月1日
- 17年10月20日 跡見学園130年史『跡見学園—130年の伝統と創造』刊行
- 17年11月12日 跡見学園創立130周年記念式典挙行
- 17年12月 5日 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科マネジメント専攻設置
認可開設時期 平成18年 4月1日
- 17年12月13日 評議員会・理事会において可決承認
「跡見学園女子大学短期大学部の施設拡充計画（概要）」
工期 平成19年 4月～平成20年 9月
- 17年12月20日 『跡見花蹊日記』刊行（全5巻のうち 第1巻～第4巻まで刊行）
- 18年 3月27日 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科設置計画の変更協議書の提出（文部科学省大学設置室法人係）
- 18年 9月30日 跡見学園女子大学文学部美学美術史学科廃止
届出日 平成18年 9月28日
- 18年12月 5日 「大学教員組織の整備」—学校教育法を一部改正する法律（平成17年法律第83号）—
助教授に代えて准教授を設けるとともに、助教を新設する。
大学及び大学院の学則を変更することを評議員会、理事会において承認可決し、文部科学省に提出
施行日 平成19年 4月1日
- 19年 3月27日 評議員会・理事会において可決承認
短期大学部の廃止及びそれに伴う寄附行為の変更について決議
- 19年 3月31日 跡見学園女子大学短期大学部閉学（文部科学大臣の認可を待って廃止予定）
跡見学園女子大学文学部英文学科廃止
届出日 平成19年 3月29日
- 19年 4月20日 『跡見花蹊日記』第5巻刊行『別巻 参考資料・補遺編』として刊行
- 19年 4月23日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可申請
- 19年 5月22日 跡見学園女子大学文学部文化学科廃止
届出日 平成19年 5月21日
- 19年 6月11日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可
短期大学部廃止に伴う寄附行為の変更登記
登記日 平成19年 6月19日
短期大学部廃止に伴う寄附行為変更登記完了の届出
届出日 平成19年 7月 2日
- 19年 9月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科廃止
届出日 平成19年 9月27日
- 20年 3月25日 評議員会・理事会において可決承認
跡見学園中学校高等学校の教室棟増設に関する件について決議
跡見学園鶴原寮の建物等の解体に関する件について決議
3月31日跡見学園鶴原寮閉寮
- 20年 6月24日 跡見学園第20期役員・評議員改選、選任完了

- 20年11月 4日 評議員会・理事会において可決承認
跡見学園女子大学文学部に現代文化表現学科を設置
跡見学園女子大学マネジメント学部観光マネジメント学科を設置
以上設置時期 平成22年 4月 1日
- 20年 3月24日 評議員会・理事会において可決承認
跡見学園女子大学文学部現代文化表現学科及びマネジメント学部観光マネジメント学
科設置に伴う寄附行為の変更について決議
- 21年 4月28日 跡見学園女子大学文学部現代文化表現学科設置届出
跡見学園女子大学マネジメント学部観光マネジメント学科設置届出
以上開設時期 平成22年 4月 1日
- 22年 5月25日 理事会・評議員会において可決承認
跡見学園女子大学の位置を平成23年 4月 1日より東京都文京区大塚一丁目 5番 2号に変更
- 22年 5月27日 跡見学園女子大学の位置変更届出
届出日 平成22年 5月27日

2. 学校法人跡見学園寄附行為

大正二年十一月二十一日制定
(大正二年十月十日証書作成)

(前文)

本法人は、財団法人跡見女学校を組織変更して、その一切の事業を継承するものである。本法人の前身者財団法人跡見女学校は、明治八年一月八日、東京神田仲猿楽町に跡見花蹊が設立し、爾来経営して来た跡見女学校の施設一切を、同人のため原富太郎外四百四十名の寄附になる校舎校具と共に移付し、大正二年十一月二十一日設立した財団法人で、当時の役員は、名誉顧問松尾臣善、渋沢栄一、千家尊福、理事跡見花蹊、跡見泰、跡見李子、原富太郎、橋本太吉、角田真平、島田三郎、監事安田善三郎、増田義一である。

茲に本法人は建学以来一貫した花蹊の教育精神を継ぎ、時世に適した女子教育を行い、もつてもつとも健全な公民としての完全な淑女を養成しようとするものである。

3. 寄附行為に定める事業内容

(目的)

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行うことを目的とする。

4. 所管官庁に関する事項

文部科学省高等教育局
東京都私学部私学行政課

5. 設置する学校・学部・学科等

(1) 女子大学

開設年度 = 昭和40年度

所在地	住 所	〒352-8501 埼玉県新座市中野一丁目 9番 6号
	電 話	048-478-3333 (庶務課直通)
	F A X	048-478-3111 (庶務課)
新座キャンパス	同 上	
文京キャンパス	住 所	〒112-8687 東京都文京区大塚一丁目 5番 2号
	電 話	03-3941-7420 (事務室直通)
	F A X	03-3941-8333 (事務室)

1) 大学院

(単位：名)

研究科・専攻名		開設年度	入学定員	編入学 定員	入学者数 (22年4月1日)	収容定員	学生数 (22年5月1日)
人文科学研究科	日本文化専攻	平成17年度	8		4	16	1年 4 2年 5
	臨床心理学専攻	平成17年度	12		12	24	1年 12 2年 11
マネジメント研究科	マネジメント専攻	平成18年度	15		2	30	1年 2 2年 10
合 計			35		18	70	44

2) 学 部

(単位：名)

学 部・学 科 名		開設年度	入学定員	編入学 定員	入学者数 (22年4月1日)	収容定員	学生数 (22年5月1日)
文学部	人文学科	平成14年度	180		214 (9)	1,260	1年 214 2年 457 3年 409 4年 420
	臨床心理学科	平成14年度	120		131 (-)	480	1年 131 2年 122 3年 129 4年 120
	コミュニケーション 文化学科	平成18年度	120		157 (2)	390	1年 157 2年 131 3年 103 4年 106
	現代文化表現学科	平成22年度	90		114 (-)	90	1年 114
マネジメント学部	マネジメント学科	平成14年度	210		251 (4)	865	1年 251 2年 288 3年 238 4年 238
	生活環境 マネジメント学科	平成18年度	60		81 (3)	300	1年 81 2年 111 3年 60 4年 88
	観光 マネジメント学科	平成22年度	90		108 (-)	90	1年 108
合 計			870	0	1,056 (18)	3,475	4,076

* () は外数で編入学者数

(2) 高等学校

創設年度 = 昭和23年度

所在地 住 所 〒112-8629 東京都文京区大塚一丁目5番9号

電 話 03-3941-8167 (庶務課直通)

F A X 03-3941-8685 (庶務課)

(単位：名)

学科・課程名	開設年度	入学定員	入学者数 (22年4月1日)	収容定員	生徒数 (22年5月1日)
全日制課程普通科	昭和23年度	300	265	900	782

(3) 中学校

創設年度 = 昭和22年度

所在地 住 所 〒112-8629 東京都文京区大塚一丁目5番9号
 電 話 03-3941-8167 (庶務課直通)
 F A X 03-3941-8685 (庶務課)

(単位：名)

開設年度	入学定員	入学者数 (22年4月1日)	収容定員	生徒数 (22年5月1日)
昭和22年度	300	262	900	797

* 中学校の募集定員は270名

6. 理事・監事・評議員 (第20期)、顧問

(平成23年3月31日現在)

(1) 理 事 14名

氏 名	職名・学園との関係	氏 名	職名・学園との関係
山 崎 一 穎	理事長・中学校高等学校長	唐 沢 徹	女子大学教授
吉 田 一 恵	常務理事	岡 田 章 子	卒業生
嶋 田 英 誠	常務理事	大 塚 和 子	卒業生
山 田 徹 雄	女子大学長	佐 藤 剛	保証人
大 塚 博	女子大学副学長	日下部 禧代子	学識経験者
住 川 明 子	中学校高等学校主事	佐 藤 正 昭	学識経験者
堀 雅 裕	法人事務局長	平 木 典 子	学識経験者

(2) 監 事 2名

氏 名	職名・学園との関係	氏 名	職名・学園との関係
金井塚 清	学識経験者	伊澤 辰雄	学識経験者

(3) 評議員 36名

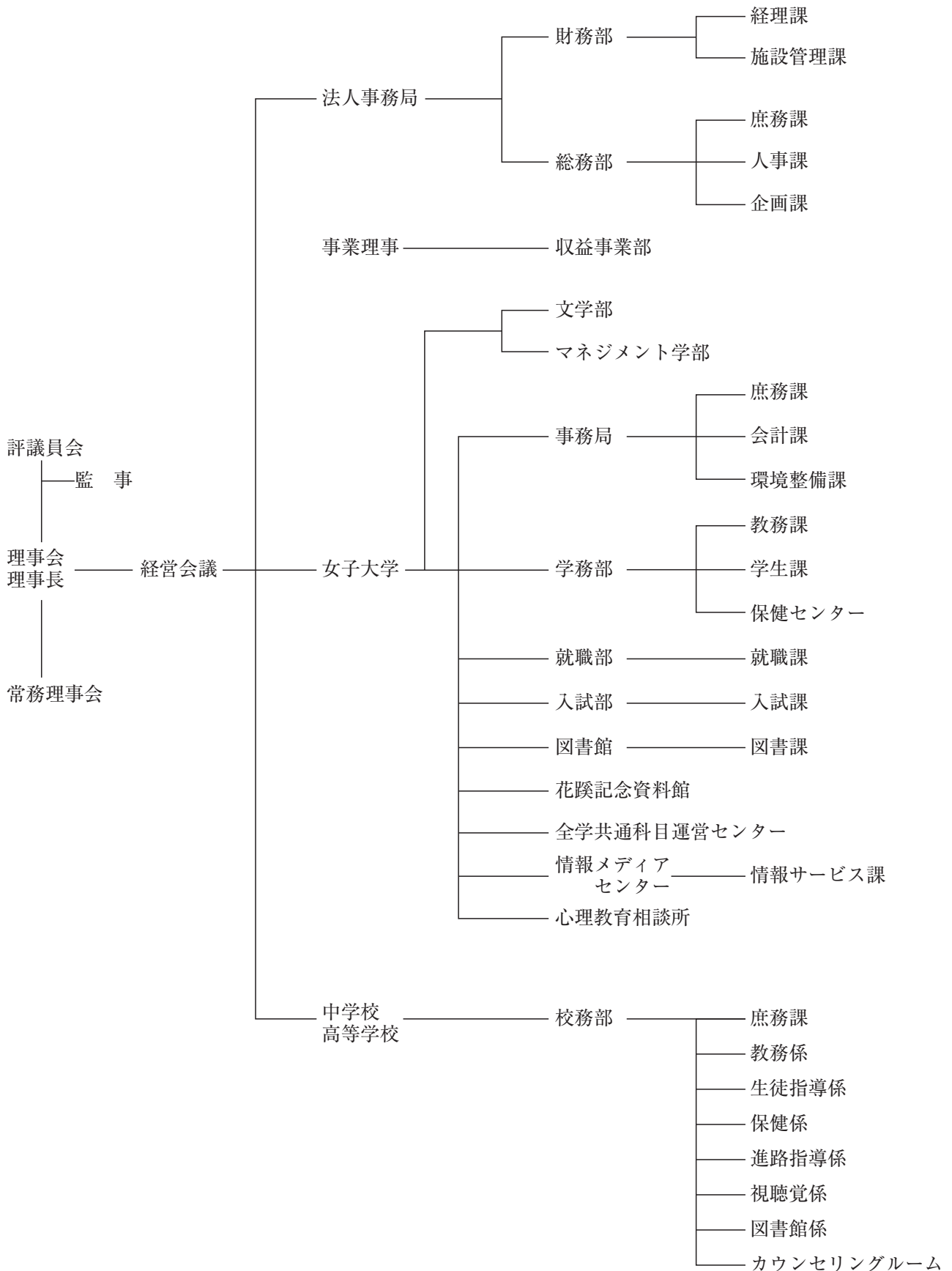
氏 名	職名・学園との関係	氏 名	職名・学園との関係
唐 沢 徹	女子大学教授	山 田 徹 雄	女子大学長
倉 石 あつ子	女子大学教授	山 崎 一 穎	中学校高等学校長
大 野 二 朗	女子大学教授	大 塚 博	女子大学副学長
花 澤 英 夫	中学校高等学校教諭	住 川 明 子	中学校高等学校主事
伊 東 利 博	中学校高等学校教諭	堀 雅 裕	法人事務局長
詫 磨 学	法人人事課長・企画課長	佐 藤 剛	保証人
岡 田 章 子	卒業生	山 崎 正 樹	保証人
木 村 安 子	卒業生	安 永 明 浩	保証人
片 山 明 子	卒業生	碓 智 宏	保証人
川 合 智 子	卒業生	小 泉 徹	保証人

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
山下陽枝	卒業生	中島由紀雄	保証人
萬葉洋子	卒業生	江口 壮	保証人
田中恵美子	卒業生	見米孝尚	保証人
唐木フク	卒業生	桐野正晴	保証人
大塚和子	卒業生	佐藤正昭	学識経験者
藤田理恵子	卒業生	日下部禧代子	学識経験者
田子郁子	卒業生	宮本文昭	学識経験者
池田文子	卒業生	中島健一	学識経験者

(4)顧問 1名

氏名	職名・学園との関係	備考
跡見純弘	学識経験者	前理事長

7. 学 園 組 織 (平成22年 4月 1日現在)



8. 専任教職員の概要（平成22年4月1日現在）

(1) 教職員数等

1) 大学院教員

人文科学研究科（学部専任教員13名兼任）

マネジメント研究科（学部専任教員11名兼任）

（単位：名）

	専任					非常勤
	教授	准教授	講師	助教	計	
人文科学研究科	11	2	0	0	13	16 (他学部 兼任含む)
マネジメント研究科	11	0	0	0	11	
計	22	2	0	0	24	16
前期末比増減	+2	-1			+1	-2
平均年齢	59	53			58	56

2) 大学教員

（単位：名）

学部	学科	専任					非常勤
		教授	准教授	講師	助教	計	
文学部	人文学科	22	3	0	1	26	290
	現代文化表現学科	5	3	0	0	8	
	コミュニケーション 文化学科	9	0	1	1	11	
	臨床心理学科	7	4	0	0	11	
マネジメント学部	マネジメント学科	9	3	2	3	17	
	観光マネジメント	5	2	0	0	7	
	生活環境 マネジメント学科	7	1	0	1	9	
計		64	16	3	6	89	290
前期末比増減		+4	0	0	+4	+8	+12
平均年齢		60	48	38	38	55	47

※5月1日より計90名（専任）

3) 中学校高等学校教員

（単位：名）

	専任				非常勤
	校長	教諭	講師	計	
高等学校	(理事長兼務)	29	3	32	25
中学校		28	5	33	26
計		57	8	65	51
前期末比増減		+3	0	+3	-1
平均年齢		43	28	41	44

4) 事務・技術・用務職員

(単位：名)

	事務職員	技術職員	用務職員	計
法人事務局	21	0	1	22
女子大学	67	1	3	71
中学校高等学校	10	0	1	11
計	98	1	5	104
前期末比増減	+6	-1	-1	+4
平均年齢	42	64	63	43

※法人には事業部3名を含む

9. 学 外 施 設

(1) 北軽井沢研修所

住 所 〒337-1412 群馬県吾妻郡長野原町大字北軽井沢地藏堂1991番地92

電 話 0279-84-2362

F A X 0279-84-1178

収容人数 約80名

テニスコート、バレーボールコート、グラウンドを備え、クラブ活動、ゼミ、研修など幅広く活用できる。

(2) 学生寮

住 所 〒352-0011 埼玉県新座市野火止五丁目17番17号

電 話 048-478-3337 (FAX 兼)

収容人数 133名

設 備 全室個室(洋室)

バス、トイレ、エアコン、冷蔵庫、机、ベッド、電話、インターネットアダプタを完備

食堂、談話室、作法室、レッスンルーム、コインランドリー設置

食 事 平 日：朝食・夕食

日・祝日：朝食のみ

Ⅱ. 事業の概要

平成22年度事業の主な概容は、次のとおりとなります。

① 大学文学部現代文化表現学科及びマネジメント学部観光マネジメント学科の開設

4月1日より大学に文学部現代文化表現学科及びマネジメント学部観光マネジメント学科が開設（既存定員の振替）され、順調なスタートを切りました。

② 大学の位置変更

5月27日に大学の位置変更の届出を文部科学省に提出し受理されました。これにより、平成23年度から、女子大学は都心の文京キャンパスに本部を有する東京の女子大学という取扱いになります。

③ 財務シミュレーションの導入

平成22年度は、10年後の18歳人口の急減をにらみ、今後の収支見通しから長期的に健全で安定した財務を確保しつつ、他の女子大の都心回帰等、厳しさを増す競争的環境に耐える新たな将来計画の必要の観点から、平成21年度決算及び平成22年度当初予算を起点とする財務シミュレーションの基盤を整備しました。今後、経営に必要な入学者確保を前提に、将来予測される様々な施設・設備の保守、人員確保のほか、耐用年数を経過した施設・設備の更新や新規取得等の必要も視野に入れつつ、いくつかの前提条件のもと、財務的に投資可能な資金枠について検討していく予定です。

④ 経営評価指標の導入

学園の現状を評価し課題を明確化・共有化するため、具体的な指標が体系的に整備された大学経営評価指標（認証評価にリンクする自己点検・評価マネジメントシステム）及び中学高校学校評価システムの導入が承認され、現在の定員規模となった平成18年度からのデータを遡り入力しました。これにより、職員人事評価に係る目標管理や教職協働にも資するものとして、今後における大学・学校改革と職員の育成との一体的な推進を図ります。

⑤ 職員の適正処遇と活性化

理事長宛「職員人事制度改革委員会答申」（平成22年3月23日）に基づき、業務の目標管理及び育成の観点から職員人事評価制度の導入が承認され、平成23年度を試行期間として位置づけるとともに、一般職員から部館長までに対し、必要な評価研修を実施しました。また、職員管理職層の適正な処遇を図るため、3月に降任・解任制度を導入することが承認され、同時に就業規則に整備された懲戒規定とともに、平成23年度からの実施が決定されました。機関の枠を超えた学園レベルで職員管理職層の連携を確保するため、拡大課長会議も復活されました。

⑥ キャンパス再整備等の検討

女子大の都心回帰が顕著となり、競争的環境がますます厳しくなる状況の中で、文京及び新座の2キャンパスの活用方法及び教育課程の在り方について包括的な見直しを行うため、「跡見学園女子大学将来構想」を検証・具体化する「将来問題検討会議」が大学に設置され、3月23日に学長に一次答申されました。これを受け、学園は、平成23年4月から「建築委員会」を立ち上げ、新座キャンパス1号館も含め、改めて教学・財務の両面からキャンパス再整備の基本構想を検討することとなりました。

⑦ 中学高校のマネジメント改革

3月22日に「学長・校長・副学長・高等学校主事・中学校主事任命規程」の一部改正に関する件（校長・主事候補者選定母体を教職員会から経営会議に変更）が評議員会・理事会で承認され、平成23年度から施行されることとなりました。同時に、これまで校長の職務を制約してきた人事委員会規則も廃止されました。また、中等教育段階における教員の指導力・教育力を高め、より高度な大学進学実績を目指す学校運営を実現するため、専任教員について、責任担当授業時間を1時間軽減するとともに、円滑で系統的・効果的な時間割編成のため、超過時間手当を設けました。

⑧ 新たな分野の補助金獲得

これまで文部科学省及び日本私立学校共済・振興事業団並びに東京都に限られていた補助金につい

て、新たな分野の補助金獲得のため、平成22年度は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（経済産業省所管）の補助金申請を開拓し、その獲得を実現させました。

<平成22年度事業の主な流れ>

- 22年3月23日 理事長宛「職員人事制度改革委員会答申」の提出
- 22年4月1日 大学文学部現代文化表現学科及びマネジメント学部観光マネジメント学科開設
就業規則の一部改正（子の看護休暇制度の拡充及び介護のための短期休暇制度の創設）の施行
- 22年4月6日 平成21年度私立学校省エネ設備等導入モデル事業補助金の完了検査（中学高校の蛍光灯機器交換工事）
- 22年5月25日 評議員会・理事会で決議
跡見学園女子大学の位置の変更に関する件（新座市→文京区）
- 22年5月27日 文部科学省に大学の位置変更の届出（即日受理）
- 22年6月1日 跡見学園文京地区消防計画（規程）の施行
大学「英会話サロン」の開設
- 22年6月18日 東京都私立高等学校等就学支援金の概算内示
- 22年6月19日 「跡見純弘コレクション」の展示公開
- 22年6月22日 拡大課長会議（復活第1回）の開催
- 22年7月1日 育児休業規程の一部改正（父親の育児参加）の施行
給与規定の一部改正（中学高校のクラブ指導手当整備）の施行
- 22年7月14日 平成22年度住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業費補助金（BEMS導入支援事業）の交付申請が採択
- 22年7月23日 春日通りの歩道拡幅工事開始予定について国土交通省東京国道事務所より連絡（平成23年1月より実施）
- 22年9月1日 20年経過に伴う学生寮の賃貸借契約の更改（賃借料について年額125,419千円から99,240千円へと26,179千円減額）
文京地区消防計画に基づく総合防災訓練の実施
電力使用量の毎月測定の開始（節電の組織的推進）
- 22年9月21日 プール事故に関する調停（平成21年（ノ）第1592号慰謝料等請求調停事件）成立
- 22年10月7日 東京都監査（平成22年度財政援助団体等監査）の実施
- 22年10月19日 自己点検評価マネジメントシステム（大学経営評価指標）の指標担当部課の確定とデータ遡及入力開始
- 22年11月6日 文学部現代文化表現学科開設記念シンポジウムの開催
- 22年11月13日 跡見学園/卒業生を迎えてのシンポジウム My Life の開催
- 22年12月18日 マネジメント学部観光マネジメント学科開設記念シンポジウムの開催
- 22年12月24日 大学ホームページをリニューアル（教育関係情報の公開）
- 23年1月18日 中学高校の学校自己点検評価システム（学校改善アセスメントネットワークシステム）導入決定（平成23年度）
- 23年1月25日 「跡見学園中学校高等学校の専任教員の責任担当授業時間数に関する規程」の一部改正（平成23年度から、責任担当授業時間を1時間減じて、週16時間（クラス担任となる教員は週15時間）に改定）承認
- 23年1月26日 「跡見学園女子大学将来構想」を検証・具体化するため「将来問題検討会議」を大学に設置
- 23年2月9日 平成22年度住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業費補助金（BEMS導入支援事業）の交付を受けて実施された中学高校の中央監視装置更新工事（中学

高校の教室等における冷暖房の空調をきめ細かく管理してエネルギーの無駄な消費を抑制する装置) に対する現地調査 (独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構-経済産業省所管)

- 23年 2月15日 給与規定の一部改正 (中学高校教員への超過時間手当支給) 承認
- 23年 3月 1日 「管理職の降任又は解任に関する規程」承認
- 23年 3月 8日 跡見学園女子大学と文京区との相互協力に関する包括協定の締結承認
- 23年 3月22日 評議員会・理事会で決議
- 学長・校長・副学長・高等学校主事・中学校主事任命規程の一部改正に関する件 (校長及び主事候補者選定母体を教職員会から経営会議に変更並びに校長候補者選考規程及び人事委員会規則の廃止)
- 理事会で決議
- 就業規則及び就業規則施行細則の一部改正に関する件 (懲戒規定の整備)
- 23年 3月23日 大学の将来問題検討会議「検討事項 (1) 教育課程について」を学長答申

1. 法人事務局

() 印は平成22年度事業計画事業)

(1) 平成22年度理事会・評議員会

1) 理 事 会

開催日	会 議	議 案
平成22年 5 月25日(火)	第350回	1. 平成21年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2. 平成21年度跡見学園収支決算報告に関する件
		3. 寄附行為第19条の2第1号に規定する評議員の補欠選任に関する件
平成22年 5 月25日(火)	第351回	1. 跡見学園女子大学の位置の変更に関する件
平成22年10月26日(火)	第352回	1. 平成22年度跡見学園収支補正予算に関する件
		2. 平成23年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件
		3. 学長・校長・副学長・高等学校主事・中学校主事任命規程の一部改正について予め意見を求める件
		4. 平成23年度跡見学園中学校学則変更に関する件
平成23年 3 月22日(火)	第353回	1. 平成23年度跡見学園事業計画に関する件
		2. 平成23年度跡見学園収入支出予算案に関する件
		3. 跡見学園女子大学学則の一部改正に関する件 (平成24年 4 月 1 日実施)
		4. 跡見学園高等学校学則の変更に関する件 (平成24年 4 月 1 日実施)
		5. 平成23年度跡見学園中学校学則変更 (平成22年10月26日評議員会・理事会承認) の実施時期を平成23年度から平成24年度に改める件
		6. 学長・校長・副学長・高等学校主事・中学校主事任命規程の一部改正に関する件
		7. 学校法人跡見学園就業規則及び学校法人跡見学園就業規則施行細則の一部改正に関する件

2) 評議員会

開催日	会 議	議 案
平成22年 5 月25日(火)	第305回	1. 平成21年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2. 平成21年度跡見学園収支決算報告に関する件
		3. 寄附行為第19条の2第4号に規定する評議員の補欠選任に関する件
		4. 跡見学園女子大学の位置の変更に関する件
平成22年10月26日(火)	第306回	1. 平成22年度跡見学園収支補正予算に関する件
		2. 平成23年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件
		3. 学長・校長・副学長・高等学校主事・中学校主事任命規程の一部改正について予め意見を求める件
		4. 平成23年度跡見学園中学校学則変更に関する件
平成23年 3 月22日(火)	第307回	1. 平成23年度跡見学園事業計画に関する件
		2. 平成23年度跡見学園収入支出予算案に関する件
		3. 跡見学園女子大学学則の一部改正に関する件 (平成24年 4 月 1 日実施)
		4. 跡見学園高等学校学則の変更に関する件 (平成24年 4 月 1 日実施)
		5. 平成23年度跡見学園中学校学則変更 (平成22年10月26日評議員会・理事会承認) の実施時期を平成23年度から平成24年度に改める件
		6. 学長・校長・副学長・高等学校主事・中学校主事任命規程の一部改正に関する件

(2) 大学の位置の変更の届出について

長年の宿願であった女子大学の登記上の位置を、東京都文京区に変更することについて、第305回評議員会及び第351回理事会(平成22年 5 月25日)の議を経て、大学の位置変更の届出を行なった。

届 出 先 文部科学省高等教育局 高等教育企画課大学設置室


届 出 日 平成22年 5 月27日(受理)

変更時期 平成23年 4 月 1 日

変更場所 東京都文京区大塚一丁目 5 番 2 号

(3) 人事関係

教育は、すなわち学校サービス業であり、対象者に対して提供できるサービスの量と質によって、今後の学校評価は決まってくる。従って、将来に向けた状況把握、分析、企画立案、制度設計ができ、業務遂行に際しては旺盛なサービス精神に立って、かつ教職協働の連携ができる職員が望まれる。今後は、人材を育て人材力を高めるための人事評価制度を全学園的な取組みとする。そこで、平成22年度は以下の取組みをおこなった。

1) 職員人事評価制度実施に向けての研修の実施 

①第1回研修

a) 被評価者研修

実施月日	平成22年 8月26日(木)、31日(火)
開催場所	新座キャンパス(26日)、文京キャンパス(31日)
対象者	一般事務職、調査役、主任(資料館主任を除く)、課長代理(就職課長代理を除く)、臨時職員、用務職員
参加者数	新座キャンパス40名、文京キャンパス35名
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価の進め方に関する説明 2. これからのあるべき職員について 3. 能力期待水準と職務行動評価 4. 目標の作り方と目標設定における経営評価指標の活用の方法

b) 課長職研修

実施月日	平成22年 8月25日(水)
開催場所	文京キャンパス
対象者	課長、就職課長代理、資料館主任、文京キャンパスディレクター
参加者数	15名
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価の進め方に関する説明 2. これからのあるべき職員・管理職について 3. 能力期待水準と職務行動評価 4. 目標の作り方と目標設定における経営評価指標の活用の方法 5. 評価者としての準備と心構え

c) 部館長職研修

実施月日	平成22年 9月2日(木)、4日(土)
開催場所	文京キャンパス
対象者	大学副学長、中高主事、事務方の部下を有する大学・中高の部館長及び大学事務局長
参加者数	10名
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価の進め方に関する説明 2. 人事評価制度の目的と考え方 3. 評価の仕組み 4. 評価者としての準備と心構え

②第2回研修

平成23年 3月11日(金)に発生した東日本大震災の影響により研修環境が整わなかったために、3月中の実施を取り止め、4月に順延することとした。

(4) 学生寮

1) 建物等賃貸借契約の変更

①貸主の変更

平成2年9月1日～平成22年8月31日 三菱商事
平成22年9月1日～平成28年3月31日 神杉孝子氏
(建物(神杉第一会館)のオーナー)

②賃借料の変更

変更前 年額 125,419千円
変更後 年額 99,240千円(月額は8,270千円)
変更時 平成22年9月1日

2) 寮費改定について

変更前 月額59,700円
変更後、月額53,500円(6,200円値下げ)
変更時 平成22年4月1日

3) 寮監の任命

渡辺 律子(臨床心理学科准教授)
任 期:平成22年4月1日～平成23年3月31日

(5) 跡見学園規定等の変更

1) 学園関係

①消防法の一部改正に伴う「跡見学園文京地区消防計画」の制定

平成22年5月18日(火)経営会議において了承
施行日 平成22年6月1日

②「海外・国内留学に関する規程」及び「海外・国内留学に関する諸経費支給規程」の一部改正

平成22年6月15日(火)経営会議において了承
施行日 平成22年7月1日

③育児・介護休業法の改正に伴う「学校法人跡見学園育児休業規程」の一部改正

平成22年7月27日(火)経営会議において了承
施行日 平成22年7月1日

④「派遣職員の取扱いに関する内規」の一部改正

平成23年2月15日(火)経営会議において了承
施行日 平成23年4月1日

⑤「学校法人跡見学園給与規定」の一部改正

平成23年2月15日(火)経営会議において了承
施行日 平成23年4月1日

⑥「修繕費支出と資本的支出(財産計上)との区分に関する取扱基準」の制定(内規)

平成23年2月15日(火)経営会議において了承
施行日 平成23年4月1日

⑦「学校法人跡見学園教職員退職金支給規程」の一部改正

平成23年3月1日(火)経営会議において承認
施行日 平成23年4月1日

⑧「管理職の降任又は解任に関する規程」の制定

平成23年3月1日(火)経営会議において承認

施行日 平成23年 4月 1日

- ⑨「学長・校長・副学長・高等学校主事・中学校主事任命規程」の一部改正

平成23年 3月22日（火）評議員会・理事会において了承

実施日 平成23年 4月 1日

- ⑩「学校法人跡見学園就業規則及び学校法人跡見学園就業規則施行細則」の一部改正

平成23年 3月22日（火）理事会において了承

実施日 平成23年 4月 1日

2) 女子大学関係

- ①「跡見学園女子大学学則」の一部改正

平成23年 3月22日（火）

理事会・評議員会において了承

施行日 平成24年 4月 1日

3) 中学校高等学校関係

- ①「跡見学園中学校高等学校転出（退学）生・転入（編入）生に係る学費等に関する内規」の条文化

平成22年 5月18日（火）経営会議において了承

施行日 平成22年 4月 1日

- ②「跡見学園中学校高等学校転出（退学）生・転入（編入）生に係る学費等に関する内規」の一部改正

平成22年 6月 8日（火）経営会議において了承

施行日 平成22年 4月 1日

- ③「跡見学園中学校高等学校特別教育活動指導手当取扱い内規」の廃止

平成22年 7月27日（火）経営会議において了承

施行日 平成22年 6月30日

- ④中学高校のクラブ指導手当にかかる「学校法人跡見学園給与規定」の一部改正等

平成22年 7月27日（火）経営会議において了承

施行日 平成22年 7月 1日

- ⑤「跡見学園中学校学則」の改正について

平成22年10月26日（火）理事会・評議員会において了承

施行日 平成23年 4月 1日

- ⑥「跡見学園中学校高等学校転出（退学）生・転入（編入）生に係る学費等に関する内規」の一部訂正

平成22年10月26日（火）経営会議において了承

施行日 平成22年10月26日

- ⑦「跡見学園中学校高等学校の専任教員の責任担当授業時間数に関する規程」の一部改正

平成23年 1月18日（火）、1月25日（火）及び2月15日（火）

経営会議において了承

施行日 平成23年 4月 1日

- ⑧平成23年度「跡見学園中学校学則」（平成22年10月26日評議員会・理事会承認）の実施時期を平成23年度から24年度に改める件

平成23年 3月22日（火）理事会・評議員会において了承

施行日 平成24年 4月 1日

- ⑨「跡見学園高等学校学則」の変更

平成23年 3月22日（火）理事会・評議員会において了承

施行日 平成24年 4月 1日

- ⑩「跡見学園中学校高等学校校長候補者選考規程」及び「人事委員会規則」の廃止

平成23年 3月22日（火）理事会・評議員会において了承

施行日 平成23年 3月31日

(6) 消防法の一部改正に伴う消防計画の策定、自衛消防組織の編成等について

消防法の一部改正に伴い、学園文京地区では「跡見学園文京地区消防計画」に基づき、防災管理者である秋山 茂文京キャンパスディレクター（次長待遇）の指揮のもとに自衛消防組織を編成し、防災防火訓練を実施した。

- 目的 ①防災訓練を通じて、自衛消防体制の機能確認、評価等を実施し、実効性について検証するとともに、地区隊及び防災関係機関相互の協力の円滑化を図る。
- ②教職員及び学園関係者が、防災訓練を通じて日常及び災害発生時において「自らが何をすべきか」を考え、災害に対して十分な準備を講じることができることとなるよう、防災訓練を防災に関する意識の高揚と知識の向上を図る機会とする。
- ③防災担当者の自己研鑽・自己啓発等が社会の災害対応力向上に直結することに鑑み、防災訓練を各防災担当者が日常の取り組みについて検証し、評価する機会とする。

実施日 平成22年9月1日（水）13：00～14：00

想定 震度6強の地震発生を想定し、総合訓練を実施する。

備考 今回は、初めての総合訓練であるため、小石川消防署の指示に基づき、各機関において、それぞれの担当・役割の確認と自覚並びに自衛消防本部との間の指示・連携の確保を主な目的とした。

(7) 監査・調査

1) 東京都による平成22年度財政援助団体等監査

調査年月日 平成22年10月7日（木）

調査内容 中学高校に対する平成20年度及び平成21年度における東京都の私立学校教育助成金調査表（B表）の内容等の検証

調査担当官 中学校担当：川崎 徹朗 氏（監査事務局監査第一課監査主査）
高等学校担当：浦森 氏（女性 職名は不詳）

監査結果 指摘事項なし（平成22年11月19日）

2) 平成22年度住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業費補助金によるBEMS導入支援事業に係る現地調査

検査年月日 平成23年2月9日（水）9：00～14：30

担当検査官 小林 敬 氏（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構エネルギー対策推進部建築物・BEMS事業担当主査）
木村 彰文 氏（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構エネルギー対策推進部専門調査員）

学園立会者 吉田 常務理事、堀 法人事務局長、森 施設管理課長、碓井 施設管理課員

補助立会者 鎌野 雅司 氏（(株)山武ビルシステムカンパニー環境ソリューション本部環境営業部4グループ課長代理）、加藤 武 氏（(株)山武ビルシステムカンパニー技術本部技術1部1グループ）

調査内容 本学園の概要ならびに財政状況の説明及び補助事業概要説明の後、書面検査および現場検査がおこなわれた。

調査結果 書面検査・現場確認とも特に大きな問題は無かった。また、補助金申請事務の質の高さを指摘され、次年度以降も積極的な補助金申請を促された。

(8) 女子大学新座キャンパス1号館の建て替え計画〈☀〉

新座キャンパス1号館の建替計画（築50年となる平成25年度末までに工事完了予定）について、10月に検討委員会を設置した。まず平成22年10月から平成23年3月までは、大学内の意向について議論し、平成23年4月より全委員で学園としての検討に入っていく。最終結論は、平成23年7月を予定している。

委員 大学 大塚 博 (副学長)
 内山 康和 (大学事務局長)
 村田 あが (学務部長)
 渡邊 泰教 (教務課長)
 法人 吉田 一恵 (財務担当常務理事)
 堀 雅裕 (法人事務局長)
 森 進 (施設管理課長)

(9) 財務シミュレーションシステムの開発と活用 <✿>

財務シミュレーションとして平成22年度から平成31年度までの資金・消費収支計算の予測を行った。また、財務シミュレーションの内容について平成22年12月22日(水)に大学教職員に向け、平成22年12月21日(火)法人事務局・中学校高等学校教職員に向けて説明をおこなった。大学新座キャンパス1号館の建替えをはじめ、学園の方向性を決定する上で財務シミュレーションシステムを活用していく。

(10) 自己点検・評価マネジメントシステムについて <✿>

学園は常に現在を検証し、その位置を見誤ることなきよう経営評価指標を整備し、将来計画の検討・策定に取り組む。平成23年度の本格稼働に向け、22年度中に以下のスケジュールに従い、導入を実施した。

6月～9月	各機関・各課における評価指標群・項目、入力担当課の点検・整備
9月～12月	評価指標ごとにデータ入力(既存[2006～2009]分データ入力)
10月～12月	並行してデータ入力・整備(2010年からのデータ入力)
1月～3月	データ入力・整備<継続>
4月～	本格稼働

(11) 音羽駐車場の無人時間貸駐車場としての一括貸出について

平成19年4月より東和不動産と管理委託契約をしている音羽駐車場について、今般の情勢に鑑み、収入の安定が見込まれる無人時間貸駐車場として一括貸出に変更した。

貸出先	株式会社トヨタエンタプライズ
管理会社	有限会社東和不動産
台数	48台分
賃料	19,920,000円(年額)
管理料	5%

(12) 学園広報関係 (<✿>) 印は平成22年度事業計画事業)

1) 『ブロッサム』の発行(16,767,000円) <✿>

学園広報誌として7月(29号)・1月(30号)に各々65,000部(29号)、65,000部(30号)発行した。主な配布先は、生徒・学生、学園卒業生、学園関係者、高等学校、企業等である。学園の財務情報を公開するほか、各設置校の最新の情報を提供した。

2) 『跡見学園報』の発行(804,300円)

学園報第50号を7月に発行した。また同号「別冊」において、平成21年度事業報告及び平成22年度事業計画を公表した。

平成23年1月、学園報第51号を発行した。

3) Web環境の整備 <✿>

・学園ホームページに、平成22年7月22日(木)付で、平成21年度事業報告書・平成22年度事業計画書を公開した。また、学園情報誌『ブロッサム』についても学園ホームページに公開した。特

集29号（ごきげんよう思い出の先生）は平成22年7月30日（金）付、30号（私のとおき授業）は平成23年1月5日（水）付で公開した。

- ・ 校友メールマガジン「あとみネット」は、No.465からNo.508まで配信した。
- ・ 前年度に引き続き、早期化する学生募集の活動に対応するため、「進学ネット」へ参画した。
- ・ 学校教育法施行規則改正に伴い、学園ホームページの情報公開のページのありかたを見直した。
「情報公開」「大学情報の公開」「教育研究上の基礎的な情報」「修学上の情報等」「財務情報」のページを新たに作成（または大学ホームページへのリンク）しなおした。

4) イメージ広告等

今年度も、平成21年4月1日より3・4年生の授業が文京キャンパスで開始され、デュアルキャンパスが始動したことを積極的にPRすることを中心に広報活動を展開した。また、平成20年6月14日（土）からの東京メトロ副都心線の開業により、渋谷と志木が一本に繋がることをイメージした新たな「A」のロゴを用いたポスター・グッズを作成し、新座キャンパスと文京キャンパスとの距離が「近い」というイメージアップを図った。

①交通広告

イ) 副都心線メトロビジョン (3,150,000円)

掲出場所 東京メトロ有楽町線、副都心線新型車両内
掲出期間 平成22年7月1日～15日
平成23年1月1日～1月15日

ロ) ポスター Big10 (1,932,000円)

掲出場所 東横線渋谷駅降車ホーム壁面
掲出期間 平成22年7月12日～18日
平成22年12月27日～平成23年1月9日

ハ) 大学連合ポスター (315,000円)

掲出場所

①中吊 埼京線、西武全線、小田急全線

②駅貼 東日本のJR主要31駅

札幌・青森・秋田・山形・盛岡・弘前・一ノ関・仙台・福島・郡山・新潟・長岡・宇都宮・前橋・高崎・熊谷・大宮・水戸・土浦・千葉・船橋・東京・上野・池袋・新宿・渋谷・横浜・静岡・八王子・松本・長野

掲出期間

①中吊 埼京線平成22年12月6日～15日

西武線、小田急線平成22年12月9日～15日

②駅貼 平成22年12月6日～12日

ニ) JRポスター (321,300円)

掲出場所 宇都宮線：白岡、東大宮
高崎線：上尾、北本、熊谷、深谷

掲出期間 平成22年7月12日～16日

ホ) フレコミボード (4,357,500円)

掲出場所 5私鉄（東急・小田急・京王・京急・相鉄）43駅の照明付専用掲示板
東 急：渋谷（東横・田都）・中目黒・学芸大・自由が丘（東横・大井町）・武蔵小杉・綱島・横浜・青葉台・たまプラーザ・用賀・二子玉川・長津田・旗の台・蒲田
小田急：新宿・下北沢・成城学園・登戸・向ヶ丘遊園・新百合ヶ丘・町田・海老名・中央林間・藤沢
京 王：新宿・明大前・千歳烏山・調布・分倍河原・聖蹟桜ヶ丘・渋谷・下北沢・

吉祥寺

相 鉄：横浜・鶴ヶ峰・二俣川・三ツ境・大和

京 急：品川・横浜・羽田空港

掲出期間 平成22年7月13日～19日

へ) 東急エチケットボード (2,277,156円)

掲出場所 ①東急線4駅(渋谷・自由が丘・二子玉川・あざみ野)

②東急線3駅(日吉、綱島、横浜)

掲出期間 ①平成22年4月1日～平成23年3月31日

②平成23年2月1日～平成23年3月31日

備考横浜延伸を見越し、平成23年3月2日よりデザイン変更

ト) 電飾看板 (2,365,860円)

掲出場所 副都心線渋谷駅ホーム壁面

掲出期間 平成22年4月1日～3月31日

チ) 東京メトロ駅周辺案内図「ナビタ」への掲載 (157,000円)

掲出場所護国寺駅

掲出期間平成22年12月31日～平成23年12月30日

②グッズ (11,264,400円)

前年度方針の継承を基本とし、赤手提袋、PPV手提袋、ロゴ入りフリクションマーカー、ロゴ入りフリクションカラーペン、ベアキーホルダー(反射板)、油とり紙セット、ロゴ入りジャンプ傘を制作した。

③一般雑誌広告 (1,764,000円)

『週刊マンガ日本史』(第37号、39号、44号)、『週刊新マンガ日本史』(第22号)への広告掲出について小学校高学年をターゲットに作成されている分冊百科。学園の知名度向上のために、裏表紙に広告を掲出した。当該号の歴史上の主要人物と跡見学園の歴史をリンクさせた広告を掲出することにより、歴史的な部分からも学園の知名度を向上させることを目的とした。

④2011年版うぶぶんカレンダーへの広告掲出 (330,000円)

掲出数 文京区全34局用：10,000枚

豊島区全35局用：10,000枚

さいたま市99局・新座本局用：10,000枚

川越(27)・所沢(25)・入間(11)・狭山(13)・坂戸(9)全85局用：計10,000枚

⑤その他新聞・雑誌・Web等の広告掲出 (14,348,549円)

中学・大学・大学院入試に関心のある受験生・保護者が多数見することを想定し掲出した。

5) 駅看板 (🌀)

12箇所の駅に年間掲出広告を出した。(例年通り)

6) 跡見学園女子大学新学科開設記念シンポジウム

①現代文化表現学科

社会やプライベートで自分らしく輝きながらコミュニケーションしていく方法を3人の女性ゲストを招き、ディスカッション形式で考えた。

テ ー マ 表現することと発信する力を育てる女性へ

日 時 平成22年11月6日(土)14:00～15:30

パネリスト 高木 美保 氏(タレント)、小松 成美 氏(ノンフィクション作家) 青木 涼子 氏(能楽研究家)、山崎 一穎(学園理事長)

②観光マネジメント学科

観光庁長官を招き、女子大生から見た日本の魅力及びその魅力をいかに発信すべきかを参加者とともに議論した。また学生代表者によるプレゼンテーションや新学科の紹介もおこなわれた。

テ　　マ	観光立国日本跡見流こだわり旅を考える 観光庁長官と語ろう！女子大生からみた旅のJAPANブランドの提案
日　　時	平成22年12月18日（土）13：30～16：00
パネリスト	溝畑　宏氏（観光庁長官）、丁野　朗氏（（社）日本観光協会常務理事）、政所　利子氏（内閣府地域活性化伝道師）、鈴木　道明氏（東武タワースカイツリー株式会社取締役社長）、塩月　亮子（跡見学園女子大学マネジメント学部観光マネジメント学科教授）

(13) 施設設備・情報環境整備関係

1) 法人棟出入口の教職員証による開錠設定（420,000円）

警備上支障があるため、17：00以降のオートロック時に教職員証（カード）を機器にかざすことで開錠できるようにした。

2) 中長期財務シュミレーションシステム導入〈❁〉

平成21年度予算で年度末に導入し、平成22年度4月より稼動開始した。学園財務の総合将来計画を策定するにあたってより機能的かつ効果的な中長期の財務シュミレーションを行う必要があるため。

3) 経営評価指標DB制作（2,257,500円）〈❁〉

職員人事制度改革委員会の答申を受けて、自己点検評価マネジメントシステム（大学経営評価指標）を導入することとなった。自己点検評価マネジメントシステム（大学経営評価指標）は、監事の教学監査、情報公開、認証評価、職員育成などへと多角的に連結している。学園はこれを目標管理に活用する職員評価制度を導入することとし、平成22年度は概略説明等をおこなった。また、データベース制作のため、各機関各部署がそれぞれデータの遡及入力をおこなった。

4) 学園規程DB更新費（378,000円）〈❁〉

平成21年9月にデータベース化が完了し、規程検索システムが稼動しているものを平成22年度も更新した。

5) Officeバージョンアップ費〈❁〉

未実施：中学校高等学校及び大学が既にOffice2007を使用しているため、法人事務局もこれに合わせるべくバージョンアップを予定していたが、現行のOffice2003と2007には互換性があるため見送った。

6) 基幹業務システムサーバ更新〈❁〉

未実施：更新後の新OSに一部の現行ソフトウェアが対応しておらず、業務に支障をきたすため、更新を見送った。

7) 複合機購入（847,192円）〈❁〉

法人棟2階設置の複合機をリース満了に伴い新しい機種に更新し、事務の効率化を図った。

8) 複合機購入（967,207円）〈❁〉

法人棟3階設置のコピー機の経年劣化のため、複合機を購入した。

9) モバイルPC更新〈❁〉

未実施：現行機器の性能が使用に耐えうるものであるため、これらのリース契約を延長することとし、更新を見送った。

10) シュレッダー（361,200円）〈❁〉

経年劣化のため更新した。

11) PCセキュリティソフト導入（1,571,850円）〈❁〉

情報の漏えいを防ぐため、データの暗号化・持ち出し制御等のセキュリティ対策用ソフト「秘文」の導入設定を行った。

12) 北軽井沢研修所

①風呂配管工事（スケール（湯垢）による水圧不足）（4,000,000円）〈❁〉

湯水の出が悪かったため、夏季繁忙期前に工事を実施した。

②グラウンド整備及び観察の森定期メンテナンス (2,520,000円)

中学1年自然教室実施に伴い、グラウンド整備及び観察の森の草刈、落葉ほかの清掃を実施した。

13) 学生寮

①寮内改修工事 (✿)

a) 寮生個室改修工事 (17,157,000円)

平成21年度より2ヵ年計画で実施している2年目残分の内装改修工事を実施した。

75室/133室。

b) 寮生個室内什器更新 (12,285,000円)

平成21年度より2ヵ年計画で実施している2年目残分の什器(消耗品)を購入した。

75室/133室のデスク等75点。

②建物簡易劣化診断 (630,000円) (✿)

賃貸借契約更新にあたり、建物簡易劣化診断を実施した。

(14) 文京キャンパス大学門(旧「東門」)から茗荷谷駅に至る通学路に沿接する個人所有地と学園敷地との境界に係る筆界について

公図と現況が異なっているため、平成21年2月23日に申請書を提出し、筆界の特定を求めている。(来年度に筆界特定書が提出される予定)

(15) 各種補助金の獲得について

交付元	補助金名	内容	交付額※
文部科学省	平成22年度大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)	大学 地域協働キャリア支援による自立自尊の女性育成プロジェクト	12,470千円
日本私立学校振興・共済事業団	平成22年度私立大学等経常費補助金	大学 特別補助 「ICT活用教育研究支援」 「大学教育の質向上への一体的な取組支援」他	131,124千円
独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	平成22年度住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業費補助金(BEMS導入支援事業)	中学校高等学校 BEMS装置及び省エネルギー制御導入による、建物設備管理及びエネルギー管理機能による省エネルギー化	12,766千円 実績額 (12,166,301円)
財団法人東京都私学財団	平成22年度私立学校地上デジタルテレビ整備費助成金	中学校高等学校 実学級数+各3教室分のデジタルテレビ設置及びアンテナ整備の補助	3,500千円

※実績額の確定は次年度となる場合がある。

(16) 東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)の影響により、学生および教職員の人的被害は無かったものの、学生・生徒の親元等に倒壊・浸水・原発による避難および地域液状化等がみられた。女子大学は学生の被災状況に鑑み、授業料の減免を実施することとした。

また、新座キャンパス1号館、2号館、グリーンホールおよび文京キャンパス1号館が小破したが、安全が確認されたので必要な補修工事を行い、平成23年5月6日に授業を再開した。

【行事および学事日程の変更】


大学

- ・卒業式・修了式（3月23日）を中止し、学位記は個別に郵送した。
- ・新座キャンパスから文京キャンパスに場所を変更し、学部別に入學式を挙行政した。
- ・春学期期間を平成23年5月6日から8月4日までに変更した。
- ・跡見アカデミア（マネジメント学部入學生全員対象の合宿）を中止した。
- ・新座キャンパスの建物の安全が確認されるまでの間、3月31日までキャンパスへの立ち入りを禁止した。


中学校高等学校

- ・中学校の卒業式（3月19日）を中止した。
- ・終業式を中止した。


2. 女子大学

〈〉印は平成22年度事業計画事業）

(1) 教育・研究関係

1) 文学部現代文化表現学科及びマネジメント学部観光マネジメント学科の設置経過について 〈〉

5月13日（木）に「届出設置に係る設置計画履行状況報告書」を文部科学省高等教育局高等教育企画課大学設置室宛に提出した。

2) 学部等の改革 〈〉

①設置経過中の組織

イ) 文学部 現代文化表現学科

文学部現代文化表現学科が平成22年度に開設し、114名の1年生を迎えた。

ロ) マネジメント学部 観光マネジメント学科

マネジメント学部観光マネジメント学科が平成22年度に開設し、108人の1年生を迎えた。

②平成26年度改革の準備

平成26年度を目標とした「跡見学園女子大学将来構想」が経営会議にて了承された。この構想では、文京キャンパスを教育の場として拡充し、新座キャンパスを研究センター、セミナーハウス、運動場として活用するもので、これらを検証・具体化するために、「将来問題検討会議」を発足させた。

③諸規程の点検・整備

新たに「アカデミック・インターンシップ運営会議内規」を設け、あわせて「教育実習運営会議内規」、「博物館実習運営会議内規」、「カウンセリング実習内規」との整合性を図った。

3) カリキュラムの改革 〈〉

①平成22年度カリキュラムの開始

平成22年度カリキュラムが開始され、1年生が平成22年度カリキュラムの下で授業を履修した。

4) 文京・新座キャンパスの整備 〈〉

①デュアルキャンパス下の教育研究インフラの改善

両キャンパスに学科研究室を設置し、研究・教育の効果向上を図った。

②デュアルキャンパス下の事務体制の改善

ローテーション勤務を廃止し、特定の職員を、年間を通じ各キャンパスに固定配置したことで、学生及び教員への対応が向上した。また、事務効率が上がり、残業時間が軽減された。

5) 学生支援 〈〉

①学生会による学長と語る会の実施

平成22年6月23日、13時より新座キャンパス及び文京キャンパス（中継）にて開催されて、英語のクラス分けを習熟度別にしてほしい等の要望があげられた。

②一紫会による修学援助奨学金の継続

	申請者	採用者
第一種	2	2
第二種	6	1

③後援会による奨学金の継続

春学期	申請者	採用者
第一種	3	3
第二種	34	22

秋学期	申請者	採用者
第一種	6	5
第二種	32	28

④就職支援体制の充実

文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」就職支援推進プログラムに係る補助金として平成22年度に12,470,000円が交付された。

これにより、9月に「筆記試験対策講座④（3年生）」、「エントリーシートの書き方講座（3年生）」を、12月に「履歴書添削ゼミ（3年生）」、「筆記試験対策講座⑥（3年生）」、「4年生緊急企画就職セミナー（4年生）」、専門のキャリアカウンセラーによる個別相談を実施した。

6) 教育研究支援〈❁〉

①教員評価制度の導入（3年目）と教員評価結果の反映

平成20年度以来実施している教員評価を踏まえ、全教員の教育・研究を対象に定量的な評価を実施した。

②教育研究支援体制の充実

イ) 跡見英会話サロン

英語の授業で英会話スキルを修得した学生に対して、その後も大学内でそのスキルを実践する場を大学として提供するために、ベルリッツ・ジャパン（株）との業務委託により「跡見英会話サロン」を開設し、学生に広く活用された。

ロ) 科研費申請を活発化させるための説明会を実施した結果、申請者および受給者の増加をみた。

③FD活動の継続実施

全学共通科目運営センター、図書館においてFD研修会・FD講習会等を継続的に実施した。

また、FD実践報告集として「FDジャーナル」（第9号）の編集作業をおこなった。

7) 学園140周年、大学50周年記念行事の準備〈❁〉

①大学50年史の刊行準備

平成23年度において引き続き検討する。

8) 学術・学会等関係（主な大会の開催等）

文京キャンパスの利便性の良さと良好な施設・設備が学術学会、団体等に支持され、多くの大会等が開催された。

主な大会等

①鉄道史学会2010年度大会が11月13日（土）に開催された。

②日本臨床動作学会 9月18日（土）から20日（月・祝日）に、第18回学術大会・第20回学会主催研修会が開催された。

③日本教育心理カウンセリング学会 10月30日（土）から31日（日）にかけて第8回研究発表大会が開催された。

④平成22年度女子大学連盟総会 平成22年10月2日（土）に25大学51名の出席のもと、開催された。

(2) 管理

1) 大学管理の点検・整備

職員組織におけるガバナンスを徹底させるために、課長会を定例化した。

2) 事務組織の点検・整備

デュアルキャンパス下における職員配置を再検討し、両キャンパスにおける職員配置の適正化を図った。

(3) 他大学との交流

1) マネジメント研究科と立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科との協定継続〈✿〉

両大学院研究科の間で締結した単位互換制度にもとづき単位互換を行った。

2) 埼玉県私立大学連絡協議会の継続〈✿〉

埼玉県私立大学連絡協議会の諸活動を通じて、埼玉県及び県内大学との交流を推進した。

3) 彩の国大学コンソーシアムの継続〈✿〉

「単位互換分科会」、「公開講座分科会」に継続して所属。

①2010年彩の国大学コンソーシアム公開講座 ～知的、快適生活のススメ～

平成22年9月11日(土) 15:10~16:30 於:川越西文化会館

演題 「ほんもの体験による地域の活性化 ～体験観光のすすめ～」

講師 マネジメント学部観光マネジメント学科 村上雅巳 准教授

受講者数 51名

②事務職員研修会

平成22年11月26日(金) 於:浦和大学

③公開講座分科会

平成22年12月2日(木) 於:跡見学園女子大学

④学長会

平成23年3月30日(水) 於:川越プリンスホテル(延期)

⑤実務者会

平成23年3月30日(水) 於:川越プリンスホテル(延期)

4) 国際交流体制

国際交流の一環として、引き続き海外(語学)研修を実施した。

・上海大学国際交流学院(中国)

期間 平成22年8月1日(日)~8月29日(日)

参加者 4名

・スターリング大学(イギリス)

期間 平成22年8月1日(日)~9月1日(水)

参加者 26名

・アクイナス大学(アメリカ合衆国)

期間 平成22年8月29日(日)~9月12日(日)

参加者 14名

(4) 地域との交流

1) 文京キャンパス茗荷谷図書館の地域開放について

文京区民を対象として、文京キャンパス茗荷谷図書館を開放

利用内容 茗荷谷図書館での館内閲覧及び館外貸し出し並びにレファレンスサービス(閉架書庫への立ち入り不可。新座図書館所蔵資料については取り寄せ閲覧が可能)

利用条件	文京区内在住の女性で区立図書館に登録されている18歳以上の社会人（学生・受験生は除く）
利用開始	平成22年 4月1日（登録から1年間利用可能で、更新も可）
利用登録手数料	年間3,150円

2) 花蹊記念資料館の開放

平成22年度中の土日祝日38日間、花蹊記念資料館を一般開放し、一般観覧者に展示物の鑑賞、資料の閲覧貸出、刊行物の頒布等を行った。

3) 新座キャンパスの開放

平成22年 4月1日～5月16日、平成23年 3月1日～31日まで（入学式・卒業式・入試日除く）の土日祝日を含む74日間、新座キャンパスを桜見学のために一般開放し、一般参加者に桜ガイドを配布した。

(5) 高等学校との交流（高大連携への対応）〈❁〉

高等学校での出張講義を13校で実施した。

(6) 大学基準協会による大学評価 〈❁〉

①評価に基づく改善

大学基準協会からの指摘に対して行った改善例は以下の通りである。

- a) 学内研究費へ依存体質を指摘された点について、外部資金導入を促すための動機づけ（文部科学省科学研究費応募説明会）を行い、また当該業務に専念する職員を配置した。
- b) マネジメント学部関連蔵書が不十分であるとの指摘に対して、一紫会寄付金をもってこれの購入資金を賄うこととした。

(7) 図書館

- 1) 跡見学園女子大学の「百人一首コレクション」は、小倉百人一首から異種百人一首まで2,700点以上の資料を有し、貴重な写本、各種版本、卷子本、錦絵、かるた、双六、研究書など幅広いものであることから、1977年に国立国会図書館の『特殊コレクション要覧』に加えられ、一般にも日本有数のものとしての評価を得ている。平成20年、これを保存環境の良好な新座図書館「特別資料室」に移し、「デジタル・アーカイブ化」にも着手した。デジタル・アーカイブ化したコンテンツを、大学ホームページを通じ公開している。平成21、22年度には内容の増補改訂を行った。

(8) 花蹊記念資料館 〈❁〉

1) 企画展

平成22年 3月18日（木）～5月31日（月）

第一展示室・第二展示室＝学園創立者跡見花蹊の横顔

〳 6月19日（土）～8月2日（月）

第一展示室＝第2回アトミ・アニメ・アート展－新たな取組－

第二展示室＝跡見純弘コレクション展 第1期

〳 9月21日（火）～11月2日（火）

第一展示室＝跡見廉書展－第4回OG作品展－

第二展示室＝跡見純弘コレクション展 第2期

〳 11月18日（木）～12月28日（火）

第一展示室＝中国宋代絵画展－原寸大複製による－ 収蔵作品公開

第二展示室＝跡見純弘コレクション展 第3期

平成23年 1月26日（水）～3月3日（木）

博物館実習生による模擬展示

3月18日（金）～3月31日（木）

第一展示室 = 新コレクション展2011収蔵作品公開

第二展示室 = 跡見純弘コレクション 第4期

(9) ATOMI アカデミック・インターンシップ

マネジメント学部の2年生、実践ゼミナール受講者373名が参加した。

(10) 公開講座

一般者を対象として、次のとおり実施した。

1) 春学期（新座キャンパス）

①教養コース「生きる意味」

平成22年5月22日～6月5日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 202名

②パソコンコース「ホームページ作成」

平成22年5月8日（土）・15日（土）[2週連続1講座]

受講者数 36名

③語学コース「英会話・中国語会話」

平成22年5月15日～7月17日 毎週土曜日 [全10回]

受講者数（各クラス合計） 英会話65名 中国語会話32名

2) 春学期（文京キャンパス）

①教養コース「跡見流“こだわり旅”への道案内」

平成22年6月12日～6月26日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 107名

3) 秋学期（新座キャンパス）

①教養コース「跡見流“こだわり旅”への道案内（その2）」

平成22年10月9日～10月23日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 139名

②パソコンコース「Excel2007初歩の初歩」[2週連続1講座]

平成22年9月25日（土）・10月2日（土）

受講者数 36名

③語学コース「英会話・中国語会話」

平成22年10月2日～12月11日（10月30日除く）毎週土曜日 [全10回]

受講者数（各クラス合計） 英会話64名 中国語会話38名

4) 秋学期（文京キャンパス）

①放送と言葉

平成22年11月6日～11月20日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 196名

(11) 講演会・講習会

1) 全学共通科目運営センター

①FD研修会

日時 平成22年10月27日（水）14：40～16：10

場所 大学図書館視聴覚ホール

テーマ 「プロゼミ－授業方法の充実を目指して」

結果 「プロゼミ」の実践報告については、他の先生方の授業内容を知るよい機会となった。

2) 全学教育・研究支援委員会と文学部の共催

①FD講演会

日 時 平成22年 7月28日 (水) 14:40～16:10
 場 所 図書館視聴覚教室
 講 師 岩崎 達也 氏 (法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 客員教授)
 テーマ 大学の講義における企業プレゼンテーションの応用

3) マネジメント学部

①第一回マネジメント学部FD講演会

日 時 平成22年 6月23日 (水) 13:00～14:30
 場 所 図書館視聴覚教室
 講 師 笠原 清志 氏 (立教大学経営学部教授、元副総長)
 テーマ 大学間競争の激化と大学改革の視点—立教大学の経験から—

4) 人文科学研究科日本文化専攻

①異文化交流フォーラム

第1回

日 時 平成22年 6月26日 (土) 15:15～17:30
 場 所 文京キャンパス 2号館 M2308教室
 発表テーマ【日本で学んだこと—その成果と展望—】

第2回

日 時 平成22年11月27日 (土) 15:00～17:00
 場 所 文京キャンパス 2号館 M2308教室
 発表テーマ【韓国、日本、ドイツ 文化の相違と相似】
 講 師 呉 明 善 氏 (オ・ミョンシオン、在独ジャーナリスト、美術史研究家)

5) 図書館主催FD講習会

日 時 12月22日 (水) 10:40～12:10
 場 所 新座図書館視聴覚ホール
 文京キャンパス (M2305教室) への映像配信
 講 師 中村 聡史 氏 (京都大学大学院情報学研究科附属情報教育推進センター特定准教授副センター長)
 テーマ 「iPadは大学教育を変えるか？」

6) 平成22年度心理教育相談所主催講習会

◆一般対象講習会 (全8回)

回	日 程	講 師	テ ー マ
1	6月15日 (火)	宮崎 圭子	「自分」を表現してカタルシス (精神浄化) を味わいましょう!
2	6月26日 (土)	阿部 洋子	音楽で、こころを癒す?
3	7月3日 (土)	松崎くみ子	元気の元を活かす子育てのヒント
4	7月5日 (月)	藤澤 伸介	自律的な学習者を育てる
5	7月17日 (土)	山口 豊一	チーム援助の理論と実践 ～個別指導計画を活用して～
6	7月24日 (土)	鶴 光代	臨床動作法～からだを軽く、心も軽く～
7	9月8日 (水)	中野 敬子	「不安」の心理学 ～そのメカニズムとコントロール法～
8	9月11日 (土)	片野 智治	関係を生きる、自分を生きる ～人間存在の根源的両義性～

(12) 学生による授業評価の実施

1) 春学期

実施日 平成22年7月16日(金)～22日(木)、26日(月)
実施科目数 723科目
履修登録者数 41,630人 回収数 32,739人 回収率 78.6%

2) 秋学期

実施日 平成23年1月21日(金)、24日(月)、25日(火)、29日(土)、31日(月)、2月3日(木)、9日(水)
1月24日(月)は4、5限のみ、1月31日(月)は1～3限のみ実施。
実施科目数 755科目
履修登録者数 38,351人 回収数 28,904人 回収率 75.4%

(13) 保護者サービス

1) 前年度に引き続き、保護者向けの「教育・進路説明会」を5会場で実施した。

①学外会場

・高崎会場

開催日 平成22年8月21日(土)
会場 高崎ワシントンホテルプラザ

・新潟会場

開催日 平成22年8月22日(日)
会場 ANAクラウンプラザホテル新潟

・宇都宮会場

開催日 平成22年8月28日(土)
会場 宇都宮東武ホテルグランデ

・仙台会場

開催日 平成22年8月29日(日)
会場 ホテルJALシティ仙台

②学内会場

開催日 平成22年10月23日(土)
会場 文京キャンパス2号館

2) 平成22年度から、就職課の主催により3年生の保護者を対象とする「保護者のための就職セミナー」を開催した。

開催日 平成22年9月18日(土)
会場 文京キャンパスプロッサムホール

(14) 広報関係及び懇談会等関係

1) 桜まつり

平成23年3月27日(日)に予定していた、一般市民・地域住民を対象とした「桜まつり」は、東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)に鑑み中止した。

2) 高校教員対象大学説明会(🌸)

高等学校の進路指導教員を対象とした大学説明会を実施した。

第1回 開催日 平成22年6月4日(金)
開催時間 15:00～17:30
会場 大学新座キャンパス(コモンルーム)
参加者数 24名

第2回 開催日 平成22年6月8日(火)
 開催時間 15:00~17:30
 会場 大学文京キャンパス(M2605、多目的ホール)
 参加者数 43名

3) オープンキャンパス

開催日 平成22年5月29日(土) 新座キャンパス
 ♪ 6月19日(土) 新座キャンパス
 ♪ 7月10日(土) 文京キャンパス
 ♪ 7月17日(土) 新座キャンパス
 ♪ 7月21日(土) 新座キャンパス
 ♪ 8月1日(日) 新座キャンパス
 ♪ 8月21日(土) 文京キャンパス
 ♪ 8月28日(土) 文京キャンパス
 ♪ 9月11日(土) 文京キャンパス
 ♪ 10月30日(土) 新座キャンパス
 ♪ 11月27日(土) 文京キャンパス
 参加者数 3,331名(高校生他2,103名、保護者他1,228名)

4) 跡見学園中学校高等学校対象の大学説明会

跡見学園中学校高等学校の生徒・保護者を対象とした大学説明会を行った。

開催日 平成22年6月18日(金)
 開催時間 15:10~16:30
 会場 跡見学園中学校高等学校(跡見李子記念講堂、中高パソコン室)
 参加者数 127名

5) 就職懇談会〈❁〉

平成22年11月9日(火)に企業の採用担当者を対象とする「学生参画型」の就職懇談会を実施した。理事長、学長ほか学生69名と就職担当教職員による説明会及びパネルディスカッション並びに懇談会(企業109社、113名参加)を行った。

会場 文京キャンパスブロッサムホール、茗溪会館

6) 入試アドバイザー制度〈❁〉

この制度も今年度で12年目となり、入試アドバイザー(89名)による高等学校訪問(486校)を行い、志願者の確保に努めた。

(15) 施設設備・情報環境整備関係

1) 文京・新座キャンパス

(施設設備)

①各学科研究室什器・備品購入(4,070,640円)〈❁〉

新学科研究室設置に伴い必要な什器を購入した。

②1号館の屋上防水補修(399,000円)

屋上防水シートがカラスによって破られ、講堂など数箇所でも漏水が発生したため、緊急に補修をおこなった。

(情報環境整備)

①PCセキュリティソフト導入(7,571,550円)〈❁〉

情報の漏えいを防ぐため、データの暗号化・持ち出し制御等のセキュリティ対策用ソフト「秘文」の導入設定を行った。

②プリンタ管理システム更新(6,457,500円)〈❁〉

新座3号館第1・2・6・7PC教室及びPC自習室機器更新に伴いプリンタを一括管理する管理システムを導入した。

③大学院生利用PC更新(4,897,200円)〈✿〉

リース期間満了に伴い、機器を更新した。

2) 新座キャンパス

(施設設備)

①仮設校舎の設置(4,718,700円)〈✿〉

平成18年度の新学科増に伴う学生数増加に対応する為、仮設教室3教室を3年リースで設置したが、今後も本仮設教室の利用が見込まれるため、設置を継続した。

②1号館講義室改修工事(2,877,000円)〈✿〉

3号館の講義室をPC教室に改修することに伴い、1号館5階の講義室に取り外した机・椅子を移設した。

③3号館サーバ室拡張工事〈✿〉

サーバ増加により、空調の能力不足が生じていたため、サーバの冷却を促進すべく、隣接する自習室の仕切りを撤去し部屋を統合する工事および空調設備改修工事を実施した。

建築工事(1,176,000円)

空調工事(9,870,000円)

電気工事(1,470,000円)

④体育館屋根補修工事(21,315,000円)〈✿〉

屋根に多数のサビや防水シートの経年劣化の進行が見られる為、補修工事を実施した。

⑤変電室の屋根・扉の塗装補修工事(535,500円)

さび等の劣化により雨漏りによる大事故発生が懸念されるため、補修工事を実施した。

⑥浄化槽整備工事(1,680,000円)

安定した運用を維持するため、整備を実施した。

⑦図書館棟トップライト(天窓)シール改修工事(1,680,000円)

雨漏りの補修工事を実施した。

⑧花蔭メモリアルホールメインスピーカー修理工事(403,200円)

スピーカーパネルが経年劣化により破損したため、修理をおこなった。

(情報環境整備)

①花蔭メモリアルホールプロジェクター更新(3,874,500円)〈✿〉

経年劣化のため液晶プロジェクター2台を更新した。

②1号館客員教授室PC設置(708,750円)〈✿〉

客員教授室の設置に伴い、PC3台を設置した。

③1・3号館第1・2・6・7PC教室及びPC自習室リプレイス〈✿〉

機器(ソフトウェア・什器・セットアップ費含む)(106,799,994円)

ネットワーク工事(6,825,000円)

電気容量増設工事(5,691,000円)

AV機器(第1・2PC教室)(13,860,000円)

④ALCネットアカデミー専用サーバ更新(4,954,530円)〈✿〉

リース期間満了に伴い、機器を更新した。

⑤教員及び学科研究室利用PC更新(27,139,413円)〈✿〉

リース期間満了に伴い、機器を更新した。

⑥教務課ファクシミリ更新(130,200円)〈✿〉

リース期間満了に伴い、機器を更新した。

⑦2号館文学部研究室複合機更新(2,343,600円)〈✿〉

リース期間満了に伴い、機器を更新した。

- ⑧ 4号館マネジメント学部研究室印刷機更新 (682,605円) 〈✿〉

リース期間満了に伴い、機器を更新した。

- ⑨ 図書館デジタルリーダプリンター・スキャナ更新 (2,079,000円) 〈✿〉

リース期間満了に伴い、機器を更新した。

- ⑩ 2号館視聴覚教室AVシステムリプレイス (18,049,500円)

AVシステムの老朽化に伴いリプレイスをおこなった。

3) 文京キャンパス

(施設設備)

- ① 1号館食堂テラス植栽改修工事 (2,100,000円) 〈✿〉

雑然として境界塀もむき出しで見えてしまうため、憩いの場に相応しい雰囲気となるよう、改修工事を実施した。

- ② 1・3号館自動火災報知機更新工事 (2,100,000円) 〈✿〉

老朽化のため、火災報知機設備受信盤の更新工事を実施した。

- ③ 1号館非常放送用アンプ更新工事 (997,500円) 〈✿〉

老朽化のため、非常放送装置の更新工事を実施した。

- ④ 2号館客員教授室什器購入 (637,350円) 〈✿〉

客員教授室の設置に伴い、什器を購入した。

- ⑤ 3号館学科研究室改修工事 〈✿〉

新学科研究室設置に伴い、内装及びLAN敷設工事を実施した。

内装工事 (9,240,000円)

LAN工事 (2,838,255円)

- ⑥ 3号館汚水槽排水ポンプ交換工事 (483,000円)

設置から20年近く経過していたため、交換工事をおこなった。

- ⑦ 1号館厨房排水溝グレーチング受金物交換 (882,000円)

厨房排水溝のふたが経年により固着していたため、衛生面に配慮し受金物を交換した。

- ⑧ 1号館食堂空調機修理 (672,000円)

室外機が経年劣化により故障したため、圧縮機の交換修理を実施した。

- ⑨ 2号館プロッサムホール・スクリーン改修工事 (5,943,000円)

せり上がり式のスクリーンについては使い勝手や通行人が引かかる等の不具合がみられたため、幕が降りる仕様のスクリーンに改修した。

- ⑩ 1号館教員研究室の空調機修繕 (378,000円)

教員研究室の空調機が一部故障したため、修繕を実施した。

(16) 入試状況

1) 平成23年度入試結果 (平成23年3月31日)

① 大学院

(単位：名)

研究科	専攻	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
人文科学研究科	日本文化	8	3	3	2	1	1
	臨床心理学	12	32	30	16	11	8
マネジメント研究科	マネジメント	15	4	4	3	3	3
合計		35	39	37	21	15	12

②学 部

(単位：名)

学 部	学 科	定 員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
文 学 部	人 文	180	530 (3)	516 (3)	386 (2)	254 (2)	229 (2)
	現代文化表現	90	247	243	143	123	116
	コミュニケーション文化	120	252 (4)	244 (4)	218 (2)	139 (1)	127 (1)
	臨床心理	120	272	268	170	133	121
マネジメント学部	マネジメント	210	508 (2)	490 (2)	426 (2)	283 (2)	257 (2)
	観光マネジメント	90	276	265	149	116	107
	生活環境マネジメント	60	118 (2)	114 (2)	96 (1)	63 (1)	53 (1)
合 計		870	2,203 (11)	2,140 (11)	1,588 (7)	1,111 (6)	1,010 (6)

* () は外数で編入学

(17) 修了者数・卒業者数・進路状況

1) 平成22年度大学院修了者数

①平成22年 9月30日付修了者

(単位：名)

研 究 科	専 攻	修了者数
人文科学研究科	日本文化専攻	0
	臨床心理学専攻	0
マネジメント研究科	マネジメント専攻	2
合 計		2

②平成23年 3月23日付修了者

(単位：名)

研 究 科	専 攻	修了者数
人文科学研究科	日本文化専攻	3
	臨床心理学専攻	10
マネジメント研究科	マネジメント専攻	5
合 計		18

2) 平成22年度大学卒業者数

①平成22年 9月30日付卒業者数

(単位：名)

学 部	学 科	卒業者数
文 学 部	人文学科	3
	コミュニケーション文化学科	1
	臨床心理学科	1
	(計)	5
マネジメント学部	マネジメント学科	4
	生活環境マネジメント学科	1
	(計)	5
合 計		10

②平成23年 3月23日付卒業生数 (単位：名)

学 部	学 科	卒業生数
文 学 部	人文学科	395
	コミュニケーション文化学科	100
	臨床心理学科	113
	(計)	608
マネジメント学部	マネジメント学科	223
	生活環境マネジメント学科	85
	(計)	308
合 計		916

3) 平成22年度進路状況 (平成23年 3月23日卒業生) (単位：名)

卒業生数	就職希望者数	就職者数	内定率	進 学	その他
916	735	670	91.2%	46	200

3. 中学校高等学校

(〈☼〉印は平成22年度事業計画事業)

(1) 教育・研究関係

1) 教育目標 〈☼〉

①生活指導

中学生は基本的な生活習慣の確立と自己分析(集団の中における自己の役割・個性)を、高校生は個性を伸張させる仲間との連携と人生計画をたてられるよう指導した。

イ) 全校的指導

体育祭、文化祭、音楽会、遠足・校外見学を実施した。

イ) 中学1年 自然教室(北軽井沢研修所 3泊4日)

ロ) 中学2年 自然教室(丸沼 3泊4日)

ハ) 中学3年 修学旅行(広島 2泊3日)

ニ) 高校1年 オリエンテーション(箱根 2泊3日)

ホ) 高校2年 研修旅行(奈良・京都 4泊5日)

②学習指導

中学生は学習に向き合う姿勢の継続と基礎学力の養成を、高校生は自己の進路目的にむけた学習応用力の養成を目指し指導した。

イ) 全校的指導

全校漢字テスト、読書感想文、夏期・冬期補講、業者による学力テストを実施した。

ロ) 中学生 茶道裏千家の作法習得

ハ) 国語科 歌舞伎、文楽、雅楽鑑賞

ニ) 社会科 浅草・隅田川周辺、江戸東京博物館見学、東京地方裁判所にて刑事裁判傍聴

ホ) 数学科 中学3年～高校1年 習熟度授業 2クラス2分割

ヘ) 理 科 小石川植物園、葛西臨海水族園、上野動物園、鹿島技術研究所見学

ト) 家庭科 テーブルマナー、食卓作法講習会、江戸東京たてもの園見学

チ) 音楽会 合唱コンクール

リ) 英語科 スピーチコンテスト

③「面倒見の良い教育を通して、受験体制へシフトし結果として偏差値を上昇させる」というグランドデザインを具体化するための事業を継続した。

2) 教員の教科指導力の向上 〈☼〉

生徒の指導に当たる教員一人一人の能力を高め、教師集団としての教育力の向上を目指して目標を掲げ実行に移した。

①教員の教科指導力の向上のために次の事業を実施した。

- イ) 教員の相互授業参観ならびに意見交換
- ロ) 研究授業により自己研鑽
- ハ) 校長、主事による授業参観

②教員のクラス経営、保護者との対応等マネジメント能力の向上のために次の事業を実施した。

- イ) 中堅教育に対する育成プログラムの実施

③教員の協同意識の向上のために次の事業を実施した。

- イ) 新入生出校日に合わせた新人教員への訓話
- ロ) 各校務主任による新人教員への研修
- ハ) 校長の新任教職員への個人面談

3) 教科内研修の実施

- 対 象 英語科専任教員・兼任講師
- 教 科 英語科
- 日 時 平成23年2月14日(月)～19日(土)放課後
- 内 容 ネイティブ講師(3名)の特別授業見学

4) 校長による授業参観

平成22年度新任教諭並びに専任講師の授業参観及び面接

5) 教員のクラス経営、保護者との対応等のマネジメント能力の向上〈❁〉

コミュニケーション能力向上のための研修「教師のためのカウンセリング基礎講座」に9月～11月参加した。

6) 講演会

①本校主催

- イ) 対 象 教職員
- 講 師 戸村 充男 氏 (キャッチボール代表)
- 月 日 平成22年5月21日 (金)
- テ ー マ 教職員のためのクレーム対応研修

②中学1年生 学年主催

- イ) 対 象 生徒
- 講 師 早川 恵子 氏 (本校カウンセラー)
- 月 日 平成22年4月22日 (木)
- テ ー マ ソーシャルスキルアップ

- ロ) 対 象 生徒
- 講 師 早川 恵子 氏 (本校カウンセラー)
- 月 日 平成22年7月15日 (木)
- テ ー マ ソーシャルスキル教育

- ハ) 対 象 生徒
- 講 師 福井 亨 氏 (ソフトバンクモバイル株式会社)
- 月 日 平成23年1月13日 (木)
- テ ー マ 携帯電話の正しい利用

③中学2年生 学年主催

- イ) 対 象 生徒
- 講 師 井口 博 氏 (弁護士)
- 月 日 平成22年10月28日 (木)

テ ー マ インターネット、携帯電話の使い方

④中学3年生 学年主催

- イ) 対 象 生徒
 講 師 「夏の会」
 月 日 平成22年7月1日(木)
 テ ー マ 「夏の雲は忘れない」
- ロ) 対 象 生徒
 講 師 早川 恵子 氏(本校カウンセラー)
 月 日 平成22年4月10日(土)
 テ ー マ コミュニケーションスキルの向上学習
- ハ) 対 象 生徒
 講 師 鈴木 真理 氏(校医)
 月 日 平成22年11月18日(木)
 テ ー マ 「校医講話」

⑤高校1年生 学年主催

- イ) 対 象 生徒
 講 師 名達 健介 氏(ベネッセコーポレーション)
 月 日 平成22年10月7日(木)
 平成22年12月9日(木)
 平成23年1月20日(木)
 テ ー マ 「進路指導関連講義」
- ロ) 対 象 生徒
 講 師 鈴木 和文 氏(東京医療保健大学入試広報部)
 月 日 平成22年12月18日(土)
 テ ー マ 「面接ガイダンス」
- ハ) 対 象 生徒
 講 師 加藤 広行 氏(代々木ゼミナール本部校)
 月 日 平成23年3月3日(木)
 テ ー マ 「校医講話」

⑥高校2年生 学年主催

- 対 象 生徒
 講 師 長堀 昌且 氏(駿台予備校)
 月 日 平成22年12月2日(木)
 テ ー マ 「入試までの1年間をどう過ごすか」

(2) 広報関係及び懇談会等関係

1) 入試の日程及び各回募集人数 <✿>

平成23年度入試募集人数

第1回入試 2月1日 100名

第2回入試 2月2日 100名

第3回入試 2月4日 70名

2) 高等学校における帰国生特別入試の実施

平成21年度入試から新たに高校で帰国生特別入試を実施した。

募集人数については、学年定員である270名を基準に、在籍者数との差となる若干名とした。平成23年度入試の受験者1名であった。

3) 塾対象学校説明会 (本校主催) (🌸)

進学塾教員対象の学校説明会を行った。

開催日 平成22年5月6日(木)、10月18日(月)

4) 日能研講師のための学校説明会

開催日 平成22年6月28日(月)

参加者 50名

5) 学校説明会 (🌸)

①本校主催学校説明会

5月6日(木)	塾対象	オープンキャンパス、個別相談
5月15日(土)	第1回説明会	オープンキャンパス、個別相談
6月12日(土)	クラブ発表会	クラブ参加
6月28日(月)	学校訪問会	日能研の先生方対象
7月4日(日)	第2回説明会	オープンキャンパス、個別相談
9月10日(金)	第3回説明会	オープンキャンパス、個別相談
10月18日(月)	塾対象	オープンキャンパス、個別相談
11月6日(土)	第4回説明会	オープンキャンパス、個別相談
11月20日(土)	体験授業	全教科実施
12月4日(土)	第5回説明会	オープンキャンパス、個別相談

②外部での共催説明会

4月29日(祝)	女子校アンサンブル	学習院女子大学	女子校9校
5月8日(土)	東京私立中学合同相談会	東京国際フォーラム	私中高協会
5月16日(日)	東京私立女子中学合同説明会	所沢くすのきホール	女子校26校
5月29日(土)	上野松坂屋・ 私立中高進学相談会	上野松坂屋	新しい教育を担う 私学の会・80校
6月6日(日)	東京私立女子中学合同説明会	文化女子大学	女子校26校
6月13日(日)	文京区合同説明会	文京シビックセンター	私中高協会・第4支部
8月21日(土)	東京私立学校展	東京国際フォーラム	私中高協会
8月22日(日)	東京私立学校展	東京国際フォーラム	私中高協会
10月17日(日)	池袋進学相談会	池袋サンシャイン文化会館	私中高協会

③外部での業者主催説明会

5月8日(土)	帰国子女説明会INアメリカ	慶応義塾NY学院	日能研
5月9日(日)	帰国子女説明会INアメリカ	Doubletree Hotel	日能研
6月20日(日)	受験なんでも相談会	新宿NSビル	声の教育社
6月22日(火)	日能研「学校を知ろう」の会	日能研・高田馬場校	日能研
7月4日(日)	日能研 学校フェア	東洋大学、慶応日吉	日能研
7月10日(土)	ベネッセ進学フェア	池袋サンシャイン	ベネッセ
7月14日(水)	日能研「学校を知ろう」の会	日能研・豊洲校	日能研
7月16日(金)	私立中高受験相談	文京シビックホール	攻文社
7月24日(土)	海外帰国子女進学相談会	アーク森ビル	JOBA
7月25日(日)	帰国子女説明会	実践女子学園	日能研
7月30日(金)	帰国生のための説明会・ 相談会	青少年総合センター	海外子女教育振興財団
8月26日(木)	日能研「学校を知ろう」の会	日能研・所沢校	日能研

9月20日(月)	TOMAS受験相談会	新宿NSビル	TOMAS
9月22日(水)	私立中高受験相談	北トピア	攻文社
10月12日(火)	学校別保護者懇話会	四谷大塚・巣鴨校	四谷大塚
10月16日(土)	中高大合同フェア	ベルサール汐留	エデュケーショナルネットワーク

④塾の保護者対象説明会

5月13日(木)	SAPIX
5月17日(月)	市進
6月7日(月)	四谷大塚
6月10日(木)	栄光ゼミナール
6月14日(月)	TOMAS

⑤本校校舎での模試+説明会

10月17日(日)	四谷大塚模試会場
11月14日(日)	四谷大塚模試会場
12月12日(日)	四谷大塚模試会場

(3) 跡見学園/卒業生を迎えてのシンポジウム <🌸>

受験生の親子を対象に実施し、好評であった。

タイトル	跡見学園/卒業生を迎えてのシンポジウム
テーマ	My Life
日時	11月13日(土) 14:00~15:30
場所	跡見李子記念講堂
パネリスト	大森 未知子 氏 (弁理士) 山本 章子 氏 (鉄道会館社長秘書) 小林 未来 氏 (朝日新聞記者) 山崎 一穎 (跡見学園理事長、中学校高等学校校長)

(4) 音楽鑑賞会

本物に触れる機会として、日本で演奏することの少ない演奏家により第41回の音楽鑑賞会を実施した。

公演	パリギャルド・レピュブリケヌ吹奏楽団 パーカッション 石川 直 氏
演目	バーンスタイン 「キャンディード序曲」 ハチャトリアン 「仮面舞踏会」 ハチャトリアン 「ガイーヌ」より「剣の舞」「レズギンカ」 ホルスト 「惑星」より「火星」「木星」 ラヴェル 「ボレロ」
日時	平成22年11月2日(火)
場所	東京芸術劇場(池袋)

(5) 施設設備・情報環境設備関係

(施設設備)

①仮設体育倉庫リース料 (382,070円)〈❀〉

平成19年4月に臨時の体育倉庫を設置したが、今年度は4基中不要となった1基を撤去し、3基についてはリース延長した。

②体育倉庫〈❀〉

未実施：現行のリース体育倉庫の買取または新規購入設置を予定していたが、今年度は見送った。

③全熱交換器（ロスナイ）メンテナンス (2,835,000円)〈❀〉

経年劣化に伴い、メンテナンスを実施した。

④グラウンド再工事 (1,155,000円)〈❀〉

テニスコートの配置変更に伴い、グラウンド工事を実施した。

⑤全教室AV機器更新工事（地デジ対応）(70,507,500円)〈❀〉

地上デジタル放送への対応及び教育コンテンツ利用の支障が生じている為、更新工事を実施した。

私立学校地上デジタルテレビ整備費助成金申請 補助金額 (3,500,000円)

⑥ベランダ出入口ガラス窓補修工事 (14,259,000円)〈❀〉

教室とベランダとの出入口用窓の開閉時に手を挟まれる等の可能性があることから、安全対策のため、補修工事を実施した。

⑦大アリーナ（跡見講堂）屋根改修工事 (24,990,000円)〈❀〉

経年劣化の進行が見られる為、大規模な改修工事を実施した。

⑧美術室屋上防水補修工事 (787,500円)

屋上に降った雨が侵入するため、補修工事を実施した。

⑨李子記念講堂舞台照明設備更新工事 (21,000,000円)〈❀〉

経年劣化により主幹盤及び調光器盤の更新工事を実施した。

⑩作法室廻り樹木改修工事 (1,917,300円) (3年計画の最終年)〈❀〉

⑪洋式トイレ化改修工事 (12,747,000円)〈❀〉

現在の生活様式に相応しいものとするため、半分以上を洋式トイレに改修し、一部にはウォシュレットを導入した。

⑫トイレ手洗いセンサー取付工事 (3,622,500円)〈❀〉

衛生面向上と節水の効果を見込めることから、手洗い場の蛇口をすべて自動水栓とした。

⑬トイレ給水管盛替工事 (498,750円)

ウォッシュレットの給水系統を上水に盛替る工事を実施した。

⑭校長室・応接室カーペット貼替工事 (918,750円)〈❀〉

劣化・磨耗が進んでいる為、貼替え工事を実施した。

⑮空調中央監視装置更新工事 (39,648,945円)〈❀〉

経年劣化により中央監視装置の更新工事を実施した。

住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業費補助金（BEMS導入支援事業）申請補助金額 (12,166,301円)

⑯ボイラー更新工事（2基）(29,925,000円)〈❀〉

経年劣化に伴い既存機器の仕様検討を実施し、簡易貫流蒸気ボイラー（2台）に更新した。（燃料：A重油→都市ガス）

⑰大アリーナ及び跡見李子記念講堂の舞台機構設備修繕 (459,000円)

定期点検において破損部分が判明したため修繕を実施した。

⑱冷温水発生機の溶液制御部品交換修理 (1,659,000円)

冷温水発生機2号機の溶液制御部品が故障し、運転不能となっており、冷房運転に支障をきたす恐れがでたため、緊急に修理をした。

⑱ プール濾過器配管交換工事 (1,155,000円)

濾過器配管より漏水があったため、交換工事を実施した。

⑳ 防犯カメラシステムの更新 (1,026,690円)

設置から約10年経過していることと、最近の治安状況に鑑み、防犯カメラシステムを更新した。

㉑ 受水槽修繕 (924,000円)

経年劣化により水槽内柱の修繕を実施した。

㉒ プール床タイルの補修工事 (630,000円)

床タイルの一部に剥離がみられたため、補修工事を実施した。

㉓ 玄関ホール床の補修 (1,596,000円)

経年劣化によりコンクリート下地から浮いてしまっているため、貼替え工事を実施した。

㉔ 大アリーナギャラリー外部出口アルミ製建具交換工事 (840,000円)

ギャラリー西側にあるアルミ製ドア2ヶ所が、経年劣化によるゆがみで扉の開閉・鍵の閉まりに支障を来しているため、交換工事を実施した。

㉕ 大アリーナギャラリー・茶庭間避難経路手摺設置工事 (987,000円)

大アリーナギャラリー非常口から屋上に出て、茶庭に抜ける避難経路に手摺が設置されておらず、緊急時に人が殺到すると落下の危険性があるため、手摺の設置工事を実施した。

㉖ S棟および大小アリーナ 器具収納棚設置工事 (3,885,000円)

器具庫の収容能力を上げ、出入の便も図れるよう、器具にあわせた収納棚を設置した。

㉗ 校舎出入口空調機改修工事 (2,499,000円)

経年劣化により配管から漏水が生じたため、改修工事を実施した。

㉘ 室名サイン改修工事 (860,475円)

経年劣化により壁面への固定に不具合が生じているため、改修工事を実施した。

(情報環境整備)

① PC実習室機器更新 (什器含む) (44,470,650円) <✿>

リース期間満了に伴い、機器を更新した。

② 教職員用PC更新 (26,785,311円) <✿>

リース期間満了に伴い、機器を更新した。

③ 図書館システム機器更新 (7,013,181円) <✿>

リース期間満了に伴い、機器を更新した。

④ 校務システム機器更新 (3,305,211円) <✿>

リース期間満了に伴い、機器を更新した。またこれに係るソフトウェアを改修した。

⑤ 入試広報室機器更新 (1,132,950円) <✿>

リース期間満了に伴い、機器を更新した。

⑥ PCセキュリティソフト導入 (3,126,900円) <✿>

情報の漏えいを防ぐため、データの暗号化・持ち出し制御等のセキュリティ対策用ソフト「秘文」の導入設定を行った。

(6) 入試状況

1) 中学校平成23年度入試結果

①一般入試 (単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
270	1,441	895	357	276

②帰国生入試 (単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
若干名	28	28	22	8

2) 高等学校平成23年度入試結果

①帰国生入試 (単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
若干名	1	1	1	0

(7) 卒業者数・進路状況

1) 高等学校

①平成22年度卒業者数 (平成23年 3月13日) 251名

②平成22年度卒業生 (平成23年 3月31日) 大学等合格状況

4年制大学【国公立】合格者数 15名

4年制大学【私立】合格者数 711名

短期大学 合格者数 1名

専門学校 合格者数 3名

留学 0名

2) 平成22年度中学校卒業者数 (平成23年 3月19日) 268名

Ⅲ. 財 務 の 概 要

1. 平成22年度跡見学園収支決算について

(1) 資金収支計算書

資 金 収 支 計 算 書

平成22年 4月 1日から

平成23年 3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,551,233,000	5,497,516,000	53,717,000
授業料収入	3,966,367,000	3,925,986,900	40,380,100
入学金収入	497,505,000	497,565,000	△ 60,000
実験実習料収入	25,579,000	22,315,100	3,263,900
施設設備資金収入	993,394,000	983,405,000	9,989,000
冷暖房費収入	68,388,000	68,244,000	144,000
手数料収入	101,010,000	107,454,130	△ 6,444,130
入学検定料収入	94,700,000	100,630,000	△ 5,930,000
証明手数料収入	1,910,000	2,024,700	△ 114,700
大学入試センター試験実施手数料収入	4,400,000	4,799,430	△ 399,430
寄付金収入	167,331,000	170,562,000	△ 3,231,000
特別寄付金収入	54,844,000	54,844,000	0
一般寄付金収入	112,487,000	115,718,000	△ 3,231,000
補助金収入	802,035,000	786,864,273	15,170,727
国庫補助金収入	344,714,000	330,144,301	14,569,699
地方公共団体補助金収入	452,190,000	444,797,372	7,392,628
都私学財団補助金収入	5,131,000	11,922,600	△ 6,791,600
資産運用収入	55,000,000	45,353,329	9,646,671
受取利息・配当金収入	55,000,000	45,353,329	9,646,671
事業収入	138,459,000	122,121,050	16,337,950
補助活動収入	138,098,000	121,570,550	16,527,450
受託事業収入	361,000	550,500	△ 189,500
雑収入	92,380,000	113,020,401	△ 20,640,401
東京都私学財団交付金収入	3,000,000	4,341,335	△ 1,341,335
私立大学退職金財団交付金収入	83,542,000	101,979,500	△ 18,437,500
その他の雑収入	5,838,000	6,699,566	△ 861,566
前受金収入	1,408,298,000	1,331,441,000	76,857,000
授業料前受金収入	571,711,000	544,999,000	26,712,000
入学金前受金収入	511,485,000	486,050,000	25,435,000
実験実習料前受金収入	7,344,000	7,089,000	255,000
施設設備資金前受金収入	289,510,000	275,360,000	14,150,000

冷暖房費前受金収入	13,248,000	12,336,000	912,000
補助活動前受金収入	15,000,000	5,607,000	9,393,000
その他の収入	257,478,000	7,513,783,934	△ 7,256,305,934
退職給与引当特定資産からの繰入収入	103,201,000	312,518,921	△ 209,317,921
法人維持特定資産からの繰入収入	0	830,000,000	△ 830,000,000
前期末未収入金収入	154,277,000	147,329,215	6,947,785
仮払金回収収入	0	136,627,956	△ 136,627,956
前渡金回収収入	0	1,202,861	△ 1,202,861
預り金受入収入	0	1,588,649,712	△ 1,588,649,712
修学旅行費預り金収入	0	73,933,219	△ 73,933,219
仮受金受入収入	0	4,423,282,050	△ 4,423,282,050
貸付金回収収入	0	240,000	△ 240,000
資金収入調整勘定	△ 1,584,324,000	△ 1,498,660,995	△ 85,663,005
期末未収入金	△ 200,000,000	△ 114,337,495	△ 85,662,505
前期末前受金	△ 1,384,324,000	△ 1,384,323,500	△ 500
前年度繰越支払資金	7,807,060,000	7,807,059,858	
収入の部合計	14,795,960,000	21,996,514,980	△ 7,200,554,980

(単位：円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,582,953,000	3,525,648,682	57,304,318
教員人件費支出	2,338,778,000	2,293,365,361	45,412,639
職員人件費支出	1,093,271,000	1,053,539,549	39,731,451
役員報酬支出	47,703,000	48,987,219	△ 1,284,219
退職金支出	103,201,000	129,756,553	△ 26,555,553
教育研究経費支出	1,276,770,000	1,242,683,162	34,086,838
準備品費支出	539,000	4,880,061	△ 4,341,061
消耗品費支出	98,397,000	100,765,339	△ 2,368,339
光熱水費支出	132,112,000	124,894,446	7,217,554
通信運搬費支出	26,730,000	26,023,426	706,574
福利費支出	24,963,000	22,808,386	2,154,614
出版物費支出	49,321,000	48,675,257	645,743
印刷製本費支出	53,164,000	47,448,878	5,715,122
旅費交通費支出	36,834,000	30,236,890	6,597,110
奨学費支出	55,754,000	51,867,030	3,886,970
修繕費支出	48,247,000	60,977,044	△ 12,730,044
保険料支出	4,283,000	2,972,406	1,310,594
賃借料支出	140,347,000	136,743,562	3,603,438
諸会費支出	9,160,000	7,256,368	1,903,632
学生・生徒会補助金支出	3,848,000	3,299,448	548,552
広告費支出	5,926,000	8,074,913	△ 2,148,913

会議費支出	305,000	215,997	89,003
食事費支出	9,015,000	7,044,194	1,970,806
支払手数料支出	6,387,000	5,034,723	1,352,277
教育実習謝礼支出	685,000	742,000	△ 57,000
渉外費支出	2,835,000	2,620,837	214,163
業務委託費支出	567,584,000	549,902,129	17,681,871
雑費支出	334,000	199,828	134,172
管理経費支出	809,331,000	733,225,742	76,105,258
準備品費支出	6,965,000	890,392	6,074,608
消耗品費支出	36,000,000	30,976,151	5,023,849
光熱水費支出	21,170,000	19,260,080	1,909,920
通信運搬費支出	12,931,000	7,882,834	5,048,166
福利費支出	9,511,000	8,030,068	1,480,932
出版物費支出	1,935,000	1,200,707	734,293
印刷製本費支出	27,186,000	18,105,218	9,080,782
旅費交通費支出	19,954,000	10,429,880	9,524,120
修繕費支出	31,583,000	32,323,837	△ 740,837
保険料支出	1,075,000	1,070,128	4,872
賃借料支出	119,383,000	118,336,387	1,046,613
公租公課支出	3,338,000	212,100	3,125,900
諸会費支出	8,700,000	6,272,882	2,427,118
広告費支出	147,229,000	153,152,287	△ 5,923,287
会議費支出	1,902,000	1,237,176	664,824
食事費支出	4,420,000	3,277,357	1,142,643
支払手数料支出	9,953,000	8,056,922	1,896,078
渉外費支出	6,930,000	4,074,322	2,855,678
業務委託費支出	338,993,000	302,582,203	36,410,797
私立大学等経常費補助金返還金支出	0	4,823,000	△ 4,823,000
雑費支出	173,000	1,031,811	△ 858,811
施設関係支出	221,326,000	219,364,565	1,961,435
建物支出	209,080,000	215,347,265	△ 6,267,265
構築物支出	12,246,000	4,017,300	8,228,700
設備関係支出	448,607,000	374,697,128	73,909,872
教育研究用機器備品支出	392,630,000	320,937,338	71,692,662
その他の機器備品支出	21,643,000	19,428,589	2,214,411
図書支出	34,334,000	34,331,201	2,799
資産運用支出	800,000,000	1,911,937,682	△ 1,111,937,682
退職給与引当特定資産への繰入支出	0	281,937,682	△ 281,937,682
建物償却引当特定資産への繰入支出	600,000,000	600,000,000	0
法人維持特定資産への繰入支出	200,000,000	1,030,000,000	△ 830,000,000
その他の支出	106,653,000	6,319,094,373	△ 6,212,441,373
仮払金支払支出	0	142,842,961	△ 142,842,961

前渡金支払支出	0	1,202,861	△ 1,202,861
前払金支払支出	22,000,000	24,406,957	△ 2,406,957
仮受金支払支出	0	4,423,282,050	△ 4,423,282,050
預り金支払支出	0	1,568,774,021	△ 1,568,774,021
修学旅行費預り金支出	0	73,933,219	△ 73,933,219
前期末未払金支出	84,653,000	84,652,304	696
[予備費]	(0) 50,000,000		50,000,000
資金支出調整勘定	△ 113,155,000	△ 130,547,691	17,392,691
期末未払金	△ 70,000,000	△ 95,995,661	25,995,661
前期末前払金	△ 43,155,000	△ 34,552,030	△ 8,602,970
次年度繰越支払資金	7,613,475,000	7,800,411,337	△ 186,936,337
支出の部合計	14,795,960,000	21,996,514,980	△ 7,200,554,980

※私立大学等経常費補助金の返還は、不正受給によるものではなく計画変更によるものである。

資金収支計算書の目的は、その年度における教育研究活動、その他の諸活動に対応する全ての資金の収入と支出の内容を明らかにすること、また、その年度における資金の収入と支出の顛末を明らかにすることにあります。

平成22年度の収入の部の合計は21,996,514,980円、一方、支出の部のうち人件費支出から資金支出調整勘定までの当年度の支出額の合計は、14,196,103,643円でした。その結果、次年度繰越支払資金は、7,800,411,337円となりました。前年度繰越支払資金が7,807,059,858円でしたので、支払資金は、21年度の末と比べて6,648,521円（0.09%）の微減となりました。また、前受金収入（平成23年度入学者に係る学納金等の額）を除いた平成22年度における実質的な次年度繰越支払資金は6,468,970,337円となりました。

(2) 消費収支計算書

消費収支計算書

平成22年 4月1日から

平成23年 3月31日まで

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	5,551,233,000	5,497,516,000	53,717,000
授業料	3,966,367,000	3,925,986,900	40,380,100
入学金	497,505,000	497,565,000	△ 60,000
実験実習料	25,579,000	22,315,100	3,263,900
施設設備資金	993,394,000	983,405,000	9,989,000
冷暖房費	68,388,000	68,244,000	144,000
手数料	101,010,000	107,454,130	△ 6,444,130
入学検定料	94,700,000	100,630,000	△ 5,930,000
証明手数料	1,910,000	2,024,700	△ 114,700
大学入試センター試験実施手数料	4,400,000	4,799,430	△ 399,430
寄付金	167,331,000	175,619,702	△ 8,288,702
特別寄付金	54,844,000	54,844,000	0
一般寄付金	112,487,000	115,718,000	△ 3,231,000

現物寄付金	0	5,057,702	△ 5,057,702
補助金	802,035,000	786,864,273	15,170,727
国庫補助金	344,714,000	330,144,301	14,569,699
地方公共団体補助金	452,190,000	444,797,372	7,392,628
都私学財団補助金	5,131,000	11,922,600	△ 6,791,600
資産運用収入	55,000,000	45,353,329	9,646,671
受取利息・配当金	55,000,000	45,353,329	9,646,671
事業収入	138,459,000	122,121,050	16,337,950
補助活動収入	138,098,000	121,570,550	16,527,450
受託事業収入	361,000	550,500	△ 189,500
雑収入	89,380,000	130,997,892	△ 41,617,892
私立大学退職金財団交付金	83,542,000	101,979,500	△ 18,437,500
その他の雑収入	5,838,000	6,743,054	△ 905,054
退職給与引当金戻入額	0	22,275,338	△ 22,275,338
帰属収入合計	6,904,448,000	6,865,926,376	38,521,624
基本金組入額合計	△ 554,829,000	△ 581,497,109	26,668,109
消費収入の部合計	6,349,619,000	6,284,429,267	65,189,733

(単位：円)

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,629,752,000	3,498,023,322	131,728,678
教員人件費	2,338,778,000	2,293,365,361	45,412,639
職員人件費	1,093,271,000	1,053,539,549	39,731,451
役員報酬	47,703,000	48,987,219	△ 1,284,219
退職金	0	650,000	△ 650,000
退職給与引当金繰入額	150,000,000	101,481,193	48,518,807
教育研究経費	2,051,092,000	2,028,212,239	22,879,761
準備品費	539,000	4,880,061	△ 4,341,061
消耗品費	98,397,000	100,765,339	△ 2,368,339
光熱水費	132,112,000	124,894,446	7,217,554
通信運搬費	26,730,000	26,023,426	706,574
福利費	24,963,000	22,808,386	2,154,614
出版物費	49,321,000	48,675,257	645,743
印刷製本費	53,164,000	47,448,878	5,715,122
旅費交通費	36,834,000	30,236,890	6,597,110
奨学費	55,754,000	51,867,030	3,886,970
修繕費	48,247,000	60,977,044	△ 12,730,044
保険料	4,283,000	2,972,406	1,310,594
賃借料	140,347,000	136,743,562	3,603,438
諸会費	9,160,000	7,256,368	1,903,632
学生生徒会補助金	3,848,000	3,299,448	548,552

広告費	5,926,000	8,074,913	△ 2,148,913
会議費	305,000	215,997	89,003
食事費	9,015,000	7,044,194	1,970,806
支払手数料	6,387,000	5,034,723	1,352,277
教育実習謝礼	685,000	742,000	△ 57,000
渉外費	2,835,000	2,620,837	214,163
業務委託費	567,584,000	549,902,129	17,681,871
雑費	334,000	199,828	134,172
減価償却額	774,322,000	785,529,077	△ 11,207,077
管理経費	870,361,000	791,313,811	79,047,189
準備品費	6,965,000	890,392	6,074,608
消耗品費	36,000,000	30,976,151	5,023,849
光熱水費	21,170,000	19,260,080	1,909,920
通信運搬費	12,931,000	7,882,834	5,048,166
福利費	9,511,000	8,030,068	1,480,932
出版物費	1,935,000	1,200,707	734,293
印刷製本費	27,186,000	18,105,218	9,080,782
旅費交通費	19,954,000	10,429,880	9,524,120
修繕費	31,583,000	32,323,837	△ 740,837
保険料	1,075,000	1,070,128	4,872
賃借料	119,383,000	118,336,387	1,046,613
公租公課	3,338,000	212,100	3,125,900
諸会費	8,700,000	6,272,882	2,427,118
広告費	147,229,000	153,152,287	△ 5,923,287
会議費	1,902,000	1,237,176	664,824
食事費	4,420,000	3,277,357	1,142,643
支払手数料	9,953,000	8,056,922	1,896,078
渉外費	6,930,000	4,074,322	2,855,678
業務委託費	338,993,000	302,582,203	36,410,797
私立大学等経常費補助金返還金	0	4,823,000	△ 4,823,000
雑費	173,000	1,031,811	△ 858,811
減価償却額	61,030,000	58,088,069	2,941,931
資産処分差額	7,362,000	2,352,584	5,009,416
建物処分差額	5,232,000	1,199,734	4,032,266
教育研究用機器備品処分差額	900,000	116,114	783,886
その他の機器備品処分差額	230,000	15,980	214,020
図書処分差額	1,000,000	1,020,756	△ 20,756
徴収不能額	0	4,241,000	△ 4,241,000
徴収不能額	0	4,241,000	△ 4,241,000
[予備費]	(0 50,000,000		50,000,000

消費支出の部合計	6,608,567,000	6,324,142,956	284,424,044
当年度消費支出超過額	258,948,000	39,713,689	
前年度繰越消費支出超過額	3,812,790,000	3,812,789,021	
翌年度繰越消費支出超過額	4,071,738,000	3,852,502,710	

※私立大学等経常費補助金の返還は、不正受給によるものではなく計画変更によるものである。

消費収支計算書は、その年度における消費収入と消費支出の内容及びその均衡状態を明らかにすることを目的としています。消費収入とは、学生生徒等納付金等、学校法人の負債とならない収入（帰属収入）から基本金組入額を控除して計算します。基本金は、学校法人会計固有の概念のひとつで、学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとされています。消費支出は、人件費、教育研究経費等、学校法人の諸活動に伴う支出の他、減価償却額等、資金の支出を伴わない支出も含まれます。

平成22年度の帰属収入のうち、手数料、寄付金、雑収入が予算額を上回りましたが、学生生徒等納付金、補助金、資産運用収入、事業収入が予算額を下回ったため、帰属収入合計では、予算に対して38,521,624円減の6,865,926,376円（予算比0.56%減）となりました。一方、基本金組入額は予算を26,668,109円上回ったため、消費収入の部合計は、65,189,733円予算を下回り、6,284,429,267円となりました。

消費支出については、人件費が全体で131,728,678円予算を下回ったほか、教育研究経費が22,879,761円、管理経費が79,047,189円、それぞれ予算を下回りました。また資産処分差額についても、予算を5,009,416円下回りました。予算には計上していない学生生徒等納付金に係る徴収不能額については、4,241,000円の支出額となりました。予備費50,000,000円は未執行でした。これらにより、消費支出の部合計は、予算を284,424,044円下回り、6,324,142,956円となりました。

以上のとおり、消費収入が予算額を下回ったものの、消費支出がさらにそれを下回った結果、当年度消費支出超過額は、予算額258,948,000円に対して、決算では39,713,689円にとどまりました。よって、この額が前年度繰越消費支出超過額3,812,789,021円に加算され、翌年度繰越消費支出超過額は3,852,502,710円となりました。

(3) 貸借対照表

貸借対照表

平成23年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	22,802,396,828	22,280,024,914	522,371,914
有形固定資産	17,503,009,498	17,749,777,745	△ 246,768,247
土地	1,554,303,706	1,554,303,706	0
建物	12,330,770,173	12,766,457,255	△ 435,687,082
構築物	223,887,966	282,095,125	△ 58,207,159
教育研究用機器備品	697,393,006	494,405,914	202,987,092
その他の機器備品	63,037,838	54,325,374	8,712,464
図書	2,630,845,892	2,594,678,758	36,167,134
車両	2,770,917	3,511,613	△ 740,696
その他の固定資産	5,299,387,330	4,530,247,169	769,140,161
敷金	100,000,000	100,000,000	0
電話加入権	13,566,079	13,566,079	0
商標権	241,251	279,851	△ 38,600
収益事業元入金	3,000,000	3,000,000	0
長期貸付金	3,640,000	3,880,000	△ 240,000
退職給与引当特定資産	1,048,500,000	1,079,081,239	△ 30,581,239
建物償却引当特定資産	2,000,000,000	1,400,000,000	600,000,000
法人維持特定資産	2,130,440,000	1,930,440,000	200,000,000
流動資産	7,991,177,574	8,040,015,382	△ 48,837,808
現金預金	7,800,411,337	7,807,059,858	△ 6,648,521
修学旅行費預り資産	36,453,360	37,479,859	△ 1,026,499
未収入金	110,096,495	147,329,215	△ 37,232,720
仮払金	10,308,419	4,093,414	6,215,005
前払金	33,907,963	44,053,036	△ 10,145,073
資産の部合計	30,793,574,402	30,320,040,296	473,534,106

(単位：円)

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,755,233,796	1,800,793,159	△ 45,559,363
退職給与引当金	1,755,233,796	1,800,793,159	△ 45,559,363
流動負債	1,577,599,175	1,600,289,126	△ 22,689,951
前受金	1,331,441,000	1,384,323,500	△ 52,882,500
仮受金	8,199,600	8,199,600	0
預り金	105,509,554	85,633,863	19,875,691
修学旅行費預り金	36,453,360	37,479,859	△ 1,026,499

未払金	95,995,661	84,652,304	11,343,357
負債の部合計	3,332,832,971	3,401,082,285	△ 68,249,314
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	30,773,244,141	30,191,747,032	581,497,109
第4号基本金	540,000,000	540,000,000	0
基本金の部合計	31,313,244,141	30,731,747,032	581,497,109
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	3,852,502,710	3,812,789,021	39,713,689
消費収支差額の部合計	△ 3,852,502,710	△ 3,812,789,021	△ 39,713,689
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	30,793,574,402	30,320,040,296	473,534,106

固定資産のうち有形固定資産については、施設、設備の取得等により、599,162,883円増加した一方、減価償却及び除却等により、845,931,130円減少したため、全体で246,768,247円減少し、17,503,009,498円となりました。また、その他の固定資産については、特定資産への積立が主な要因となり、全体で769,140,161円増加し、5,299,387,330円となりました。流動資産については、未収入金等の減少が主な要因となり、全体で48,837,808円減少し、7,991,177,574円となりました。

固定負債の退職給与引当金が45,559,363円、流動負債のうち前受金が52,882,500円、それぞれ減少したことが主な要因となり、負債の部の合計は、68,249,314円減少し、3,332,832,971円となりました。

基本金の部は、581,497,109円増加し、31,313,244,141円となりました。また、消費収支差額の部（翌年度繰越消費支出超過額）は、消費収支計算書における当年度消費支出超過額である39,713,689円増加し、3,852,502,710円となりました。

(4) 財産目録

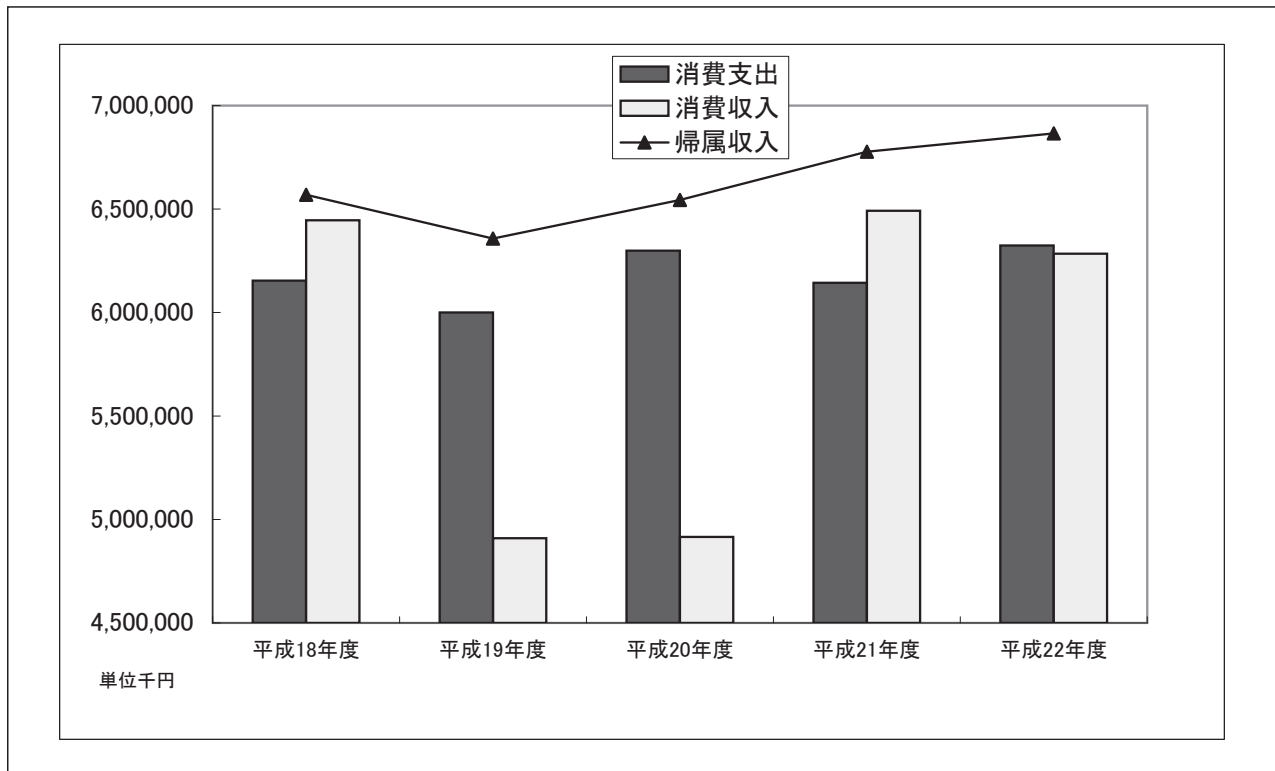
財 産 目 録

平成23年3月31日

I 資産総額	30,793,574,402円
内 (一) 基本財産	17,503,009,498円
(二) 運用財産	13,290,564,904円
II 負債総額	3,332,832,971円
III 正味財産	27,460,741,431円

区分	金額
一 資産	
(一)基本財産	
1 土地	232,847.96㎡ 1,554,303,706円
(1)校地	232,847.96㎡ 1,554,303,706円
2 建物	75,482.66㎡ 12,330,770,173円
(1)校舎	71,575.75㎡ 12,025,776,853円
(2)校外	2,157.26㎡ 193,512,624円
(3)法人棟	1,749.65㎡ 111,480,696円
3 教具、校具、備品	34,847点 760,430,844円
4 図書	515,003冊 2,630,845,892円
5 その他	226,658,883円
(二)運用財産	
1 現金預金	7,800,411,337円
2 積立金	5,178,940,000円
3 その他	311,213,567円
総額	30,793,574,402円
二 負債	
(一)固定負債	
1 退職給与引当金	1,755,233,796円
(二)流動負債	
1 前受金	1,331,441,000円
2 未払金	95,995,661円
3 その他	150,162,514円
総額	3,332,832,971円
正味財産 (資産総額-負債総額)	27,460,741,431円

2. 過去5年間の収支決算の推移について



帰属収入
消費収入
消費支出

負債とならない収入
帰属収入から基本金組入額を控除した収入で、消費支出に充てられる収入
消費する資産の取得価額及び用役の対価（人件費、消耗品、旅費交通費等）

IV. 収益事業の概要

(1) 概 要

収益事業部（以下「事業部」という。）は、従来2名の専任職員で行ってきたが、退職予定者との事務引継ぎ上から当該年度は3名により中学校高等学校の教科書、学用品及びスポーツ用品の販売と駐車場賃貸業務を行っている。

特に駐車場については、これまでの個別賃貸から時間貸しへと、今年2月1日から一括業務委託に切替え、経営の安定化をはかることとした。

委託業者は（株）トヨタエンタプライズ（トヨタ自動車系列）であり、その賃貸料は1ヶ月間1,577千円（年間18,924千円）の契約である。これは平成23年度以降大きな期待がもてるものの、当該年度は職員の3人体制による人件費増により、当期利益は△3,315千円の赤字となり、平成22年度の繰越利益剰余金期末残高は、前年度繰越赤字△2,469千円を加えて△5,784千円の赤字計上となった。

<事業部の年間業務>

- 4月 新学期販売準備（上履、校庭履、指定用品等）
 - 中高生教科書販売
 - ランチ販売
 - 団体保険、損害保険代理店業務
 - 駐車場賃貸
 - 教師用教科書・指導書販売

（以上は経常業務）
- 5月 中高生スポーツ大会飲料水販売
中学学校説明会、幹事会・父母会等飲料水販売
収益事業決算
- 7月 中高生夏期休暇用テキスト販売
中学学校説明会入試問題集販売
- 8月 夏期休業
- 9月 中高生新年度用副教材・学用品問合せ準備
中学高校体育祭飲料水販売
中学高校文化祭入試問題集販売
- 10月 中学学校説明会入試問題集販売
- 11月 中高生用副教材発注準備・教師用指導書発注
中学学校説明会入試問題集販売
- 12月 中高生新学期用教科書入荷
中学学校説明会入試問題集販売
中・高帰国生入試関係準備
予算編成
- 1月 中学新入生副教材・学用品入荷
中高在校生副教材申込・集計等
- 2月 中高在校生新学期用副教材の発注
中学入試期間物品・飲料水等販売
中学新入生教科書・学用品販売
中高在校生教科書・副教材入荷
- 3月 中高在校生教科書・副教材販売（2月下旬から3月上旬）
中学高校卒業式物品・飲料水等販売
中高生新学期用物品等準備

(2) 貸借対照表について

資産の部合計	17,584千円で、前年度比△3,564千円の減
負債の部合計	20,369千円で、前年度比 △248千円の減
純資産の部合計	△2,784千円で、前年度比△3,315千円の減

このように前年度比では科目毎の大きな差異はなく、適正な運営を行っているといえる。ただ資産の部で△3,564千円の減少になっているがこれは、棚卸資産を適切な状態にしたことで、期末たな卸高が△2,955千円減となったことによる。

(3) 損益計算書について

売上総利益は、33,340千円で前年度比2,500千円程の増加となっているが、当該年度は専任職員3人体制による人件費増がマイナス要因となり、当期利益も△3,315千円の赤字となり、前年度繰越赤字△2,469千円を加算すると、平成22年度の繰越剰余金期末残高は、△5,784千円の赤字となる。

平成22年度収益事業に係る貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
流動資産	16,754,505
固定資産	829,885
資産の部合計	17,584,390
負債の部	
流動負債	17,369,002
固定負債	3,000,000
負債の部合計	20,369,002
純資産の部	
資本金	3,000,000
剰余金・欠損金 (繰越利益剰余金)	△5,784,613
純資産の部合計	△2,784,613
負債・純資産の部合計	17,584,390

平成22年度収益事業に係る損益計算書

(単位：円)



経常損益の部	
営業損益	
営業収益	82,995,471
営業費用	49,655,128
売上総利益	33,340,343
販売費及び一般管理費	37,627,155
営業利益	△4,286,812
営業外収益(費用)	1,332,070
経常利益	△2,954,742
特別損益の部	
特別損失	△360,497
税引前当期利益(損失)	△3,315,239
法人税・住民税及び事業税	0
当期利益(損失)	△3,315,239
繰越利益剰余金期首残高	△2,469,374
繰越利益剰余金期末残高	△5,784,613

監 査 報 告 書

平成23年5月20日

学校法人 跡見学園
理 事 会 御 中
評 議 員 会 御 中

学校法人 跡見学園

監事 金井 瑠 清 
監事 伊 澤 辰 雄 

私たち学校法人跡見学園の監事は、私立学校法第37条第3項及び寄附行為第10条の規定に基づき、平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の法人の業務、収支及び財産並びに理事の職務執行の状況を監査いたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会及び評議員会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、かつ、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な関係部署において業務、収支及び財産の状況を調査し、また、会計監査人（角諭、杉山七美）と連携を取り、計算書類につき検討を行いました。

2. 監査の結果

- (1) 法人の業務に関する決定、理事の職務執行及び業務の報告に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (2) 資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表並びに収益事業に係る計算書類は、会計帳簿の記載と合致し、法令及び寄附行為に従い法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上